部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る タ	総事業費	12,979千円	15,540千円	19,363千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,972千円	2,931千円	2,931千円	
全体	総事業コスト	15,951千円	18,471千円	22,294千円	

				14.17	F -	£ → 1 1 → 101						V = (+ m 1-							
事務等	事業名	01 在3	宅高齢者布団丸洗い乾燥事業	指標 		京付者数 6年度		□ □20年帝 □	ЦО	0年度	指標種別 H30年度	活動結果指揮 	 │ H32年度	٠,	で描り版画	┃ ┃申請を受け ,	交付条件を清	ままます。 またした人へ助	成券を郵送
戦略	プラン		- -	▋目標	[値	6年度 00名	H27年度 950名	H28年度 1,400名		9年度 100名	- 130千度	- 131千度	- 132年度		指標の概要	にて交付する	3.		
				実	績 1,0)62名	1,223名	1,229名											
総合	·甾·安						H28年度				H	29年度] _	·の他の指標				
100 CI	∓ X₩□			善	絡を密に行 [.] 助成券の郵	うことで , ト 送先を確!	トラブルの発生に 実に受け取りが	できる人に設定す	善善		から集配業務を することになるた な事業実施を	:め,両業者との	Jーニング業者とは別の業者 , 両業者との連絡を密に行				1		
佃则		つ /Jギ:	市高齢者福祉計画		態を減らす。	ことで,再送や受取人の助成券の紛失というような事 を減らす。			標	V 1 , □ / F	は争未天心で	1.0			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
凹刀		ン (四日出土田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		右団(掛布区	司.動布団	・手布)のも洗し	\乾燥を , 65歳以				毛布)の丸洗い軟 者世帯は年1回,		llini.	事業費(A)	8,576千円	7,510千円	10,127千円	0千円
根拠氵		生宅高	高齢者布団丸洗い乾燥事業実施要	事	上でひとり暮 たきり状態等	暮らし・高歯 等の方は年	令者世帯は年1년 ∓最大2回,無料	国,65歳以上でね 4で実施する。替え		たきり状	態等の方は年	ョピャはディロ, 最大2回,無料で 無料で布団の貸	き実施する。 替え		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
TKJÆ7	4 4 13	绱		計			は無料で布団の	貸出しを行う。	計画	4月 ク!	リーニング業者	決定			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	4 任意	意的事業		申請受付:Ñ 6月 事業開					5月 ク! について 6月 事	て協議	及び集配業者とヨ	三者で実施方法	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	全て委	話							0/3 4-9				$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		5団の丸洗い乾燥を行い,高齢者の健康の┃			助成券交付	贷券交付者数∶1,229名									一般財源	8,576千円	7,510千円	10,127千円	0千円
**	ひとり暮			活動		65歳以上のひとり暮らし 高齢者世帯,ねたきり状態の 方を対象に布団丸洗い乾燥を無料で実施した。替えの				半 期 活 - 動					人件費(B)	1,486千円	2,198千円	2,198千円	
	保持及				布団がない場合には無料で布団の貸し出しを行った。									従事 割合	0.20人	0.30人	0.30人		
ĦЛ					利用者の増加により、クリーニング業者による集配が困 難になってきたため、実施方法の見直しを行った。				実績	美 					職 時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
					7. l. 10 # > l	なし L 10 せ		## <i>*</i> *******	_					$\ \ $	臨時職員等	有	有	有	
	布団(挂	┢布団	·敷布団·毛布)の丸洗い乾燥を,年		団の丸洗い	乾燥を無	料で行ったことで	難な方を対象に布 『, 高齢者の健康を がの機体に実力						1	事業コスト (A+B)	10,062千円	9,708千円	12,325千円	
業の概	貸出も を受け ら助成	無料で 市でが きを自	。布団の替えがない方には,布団のでつる。本人もしくは家族等から申請対象条件を確認後,交付が決定した日に郵送する。委託業者には,交	´┃果 <u>-</u> ┃ -	することがて	できた。前年	年度に比べ利用	祉の増進に寄与 者がさらに増加 与することができ	期成果	-				H 30	H O		l		
	要 付決定の都度,利用者リストを送付し,事業の実施を依頼する。 大気汚染の防止 達成 上28 本人による助成券受取が難しく,家族等へ			課 題 =		見直しに。 ったため、 らよう準備		別の業者に委託す 業実施がスムース		-				年度当初積算根拠					
12.5	関連性確	認し、	が必要な場合も多いため,送付先を 再配達による余計な自動車の運用 **	進:	事業の 捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	達成		事業の <u>進捗状況</u>	-	改善目標の 進捗状況	-	1XL					
ISO 14001	001 大気汚染の防止 H29 本人による助成券受取が難し〈,家族等へ :		有効性	中∶適切な	成果が得られて	113		有効性	E -										
		評価 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評価 効率性 -			-				30年度 方向性	理由 -									
			総合評価	3∶成果∙費/	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	価 -										

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	12,979千円	15,540千円	19,363千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,972千円	2,931千円	2,931千円	
全体	総事業コスト	15,951千円	18,471千円	22,294千円	

	= 44 /2	٠٠ = ١	ᄡᆉᇝᆉᄺᆂᄴ	指	標名 助原		<u></u>				指標種別	活動結果指							
事務制	事 業省	02 局間	齡者日常生活支援事業			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	」 」指	標の概要	申請を受けて交付する	, 交付条件を清 ス	たした人へ助	成券を郵送
戦略	プラン			目目	標値	310名	570名	800名	80	00名	-	-	-				ν ₀		
		- -		実	績	572名	677名	695名											
総合	戦略				I		H28年度			H29年度						-			
		- -		改善	であるた	め、依頼でき	加は著しいが, る作業が明確で	利用率は半数程原 でない等の改善点	改善目	│ 改 │作業依頼は業者に直接連絡するようになり │ 善 │所に一度連絡が入ることが多いため,利用 │ 目 │一回で済むように,問合せ先の表記順を勢			なっているが役 川用者の連絡が ま業者を生にし						
個別	計画	つ/ げ	市高齢者福祉計画	標	を解消す	解消する。			標	問い合	わせ内容を明確	にして改善する。	(来省を元にひ,	III.	事業実施 コスト	H27年度決算	[H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧印力リ		ノヾ゙゚゚゚゚	11 同國 1 音 雅 企 1 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四											事	葉費(A)	4,403千円	8,030千円	9,236千円	0千円
根拗泻	上今等	高齢者	6日常生活支援サ-ビス利用料助成 度施要項	事	が自ら行	うことが困難	はな作業(掃除,窓	を対象に , 対象者 拭き,電球取替等) 費用を一部助成す	▮事	が自ら行	上のひとり暮らし 行うことが困難な 事業所に依頼し <i>1</i>	作業(掃除,窓拭	き,電球取替等)		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
1137272	7 V 13	事業実	E施要項 	計画			11,214円券 x 5		計画		世帯あたり年間は				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	A 任意	意的事業 		申請受付	廿∶随時				申請受	付∶随時			内 訳_	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	一部委	託							\vdash				-	その他特則	0千円	0千円	0千円	0千円
由	事 口业4		活を送る上で自ら行うことが困難な作業をし		 助成券交	₹付者数∶695	5名		上半						一般財源	4,403千円	8,030千円	9,236千円	0千円
	衣頼した	E活を送る上で自ら行うことが困難な作業を た際にかかる費用の一部を助成することに	∥動				を対象に,対象者	期	l.				人	、件費(B)	1,486千円	733千円	733千円		
	より, 高 福祉の	齢者の 増進を	の日常生活を支援し,高齢者の在宅 :図るため。	齢者の在宅∥実 が 績 を		目ら行うことが困難な作業(掃除,窓拭き 品力事業所に依頼した際にかかる費用		費用を一部助成し	番九							0.20人	0.10人	0.10人	
					た。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)									内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
						r+\\\ - \	<u> </u>	1 サ& よ <i>、/ト</i> ーンピ <i>ュー /シ</i> ーナエ /	+	-					臨時職員等	有	有	有	
事	対象者	が自ら	行うことが困難な作業(掃除,窓拭き を協力事業所に依頼した際にかかる	成	た際にか	かる費用の	一部を助成する	難な作業を依頼し ことにより , 高齢者 短いの増進に実り	# 単						事業コスト (A+B)	5,889千円	8,763千円	9,969千円	
*	費用の	一部を	を協力事業所に依頼した際にかかる :助成する。一世帯あたり年間1,214 付する。本人・家族等から申請を受	果	 できた。 ま	また、利用者	,同断名の任七代 と協力事業所の は事業実施に努る	福祉の増進に寄り 間に立ち , 情報共 めた。		-				Н					
垂	」 ナ,市で 宅に郵	対象条	条件を確認・決定のうえ,助成券を自					•		\vdash				30 年 度					
	J2,		·	課	 利用者と	事業所の間	にトラブルが起る	こることがあるた	課										
		大	気汚染の防止 達成				て調整することか		題	-				積量算					
	^{環境} の	人に』 送付 <i>f</i>	はる助成券受取が難し⟨,家族等へ が必要な場合も多いため,送付先を		 事業の	· 法代	│ 改善目標 <i>0</i>			<u> </u> 事業の		改善目標の		根拠					
ISO	性確	認し, 防止す	再配達による余計な自動車の運用 fる。		態形状況 有効性	達成中・適切な	進捗状況	達成		生捗状況 有効性		進捗状況							
14001	H29 本人による助成券受取が難し〈,家族等へ	評価			中:適切な成果が得られている 		評価	効率性					0年度	- 理由 -					
	環境 の送付が必要な場合も多いため,送付先を 唯 確認し,再配達による余計な自動車の運用 を防止する。		価) 待られている 		総合評				の方向性						

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	12	老人ホーム入所措置に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る タ	総事業費	8,053千円	6,940千円	9,051千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,229千円	2,198千円	2,198千円	
全体	総事業コスト	10,282千円	9,138千円	11,249千円	

7 <i>L</i>	+ NI			指標	票名 措置入所者数	 [指標種別	活動結果指	三			l	 5名が継続的な措置入所を行っていたが,平成25年			
事務	事業名	01 老,	人ホーム入所措置事業		H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	 指標	の概要	3月に1名死	亡したため , 以			
戦略	プラン			目標	票値 5名	4名	4名	4	名	4名	4名	4			所を続けてい	1る。			
				実約	績 4名	4名	3名												
総合	戦略					H28年度			H29年度					也の指標	-				
	_				施設への訪問調査		施設担当者から愉	】 割 善 目		 計置入所者の施設での生活状況,環境の状況の変化 こいてより詳細に調査し,適正な措置を行う。									
佣品	計画	つ/Jギi	市高齢者福祉計画	標	我以来で憤煙の101	収集を積極的に行い連携を図る。 目 につい 標			てより 計細に 副国		美実施 スト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
旧山力		J (181	四日北部日本海市										事業	費(A)	8,053千円	6,940千円	9,051千円	0千円	
根拗	法今等	老人福	· [社法	事	6月 措置入所者の 下半期 施設へ訪問	所得確認	状況等の問念取け	事		措置入所者の所行 費用徴収額決定	得確認		国国	車支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
112122	老人福祉法 つくば市老人福祉法施行細則 事業分類 (義務的事業				業 下半期 施設へ訪問し,本人の生活状況等の聞計 調査を行い,継続的な支援が次年度以降も必要 ■ か検討を行う				12月 が	月 施設訪問による状況調査 月 措置費支払			県	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	事業分類 C 義務的事業 執行体制 職員のみ				,, IXII - 117				3,3				内 訳	也方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	「体制	職員の)み						-				70	D他特財	0千円	178千円	150千円	0千円	
車	事							上半						般財源	8,053千円	6,762千円	8,901千円	0千円	
業の	環境上 て春護:	上の理由及び経済的理由により居宅におい 隻を受けることが困難な高齢者の心身の健		動	7月 養護老人ホー 1月 3名の入所者に	こついて施設を訪り	II ++0	l.				人件	費(B)	2,229千円	2,198千円	2,198千円			
目的			活安定を確保するため。	績	やむを得ない理由に	もして措置が必要であることを確認 い理由により、一時的に2名を措置対応		┃動┃ ┃実┃					正 職—	従事 割合 時間外	0.30人	0.30人	0.30人		
					(4月,12月)					績					0.00時間	0.00時間	0.00時間		
								_						寺職員等	無	無	無		
事			由及び経済的理由により居宅にお けることが困難な65歳以上の高齢	成	養護老人ホームの	施設担当者と連携	を図ることにより、	上半期						<pre></pre>	10,282千円	9,138千円	11,249千円		
業の	者の中 められ7	で入所と者に	「判定委員会により入所が必要と認対し, 市の職権により養護老人ホー	果!	措置者の状況把握	ができた。		成果					Н						
概要	被措置	者本人	(し,その生活費を支弁する。また, 、の所得に応じて,生活費の一部を						-				30 年 度						
	徴収す	ර ං		-m	環境上及び経済的 中で,生活困窮の*	犬況が若干緩和さ	れつつある者がい						年 年 年 年 年 年 年 年 年 年						
		- -	<u> </u>	題	る。今後,身元引受 緊急に入院加療が 検討の必要性があ		へ必要がある。 の対応等について	題	-				積算						
	H28 環境 関連 _	ı	•	事	事業の 凌点	改善目標の			 事業の		改善目標の		根拠						
ISO 14001	性			進	<i>1少1八/</i> 兀	進抄仏/兀		i	生捗状況 有効性		進捗状況								
14001	01					効率性				H30年 の方は		· 理由 -							
	関連 - 性			''			買用対効果が得られている 価						の方向)1生					

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	6,433千円	7,230千円	8,827千円	0千円
る経費全体	総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
全体	総事業コスト	10,890千円	11,626千円	13,223千円	

	711	り暮らし高齢者等緊急通報システ	指標名	設置台数					指標種別	成果指標							
事務事業名 0		- 7春50同版省寺系志通報グスプ 公置事業	1日1示"口	H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標	の概要	年度末現在,	設置されてい	る台数を指標	きする。
戦略プラン	1	1 高齢者支援体制の整備	目標値		280名	285名		0名	290名	290名	290名	3412	1702				
-			実績	241名	228名	213名											
総合戦略 -					H28年度				H2	9年度		その作	也の指標	-			
-			改 善 善 目 合	託業者から利用者。 は,協力員や親族。	の入院 , 入所等	の情報が入った場			になる人がいない 直し等の検討を <i>行</i>		引き続き利用条						
個別計画			標	(3、)加力	こ注記で扱うスファ	n, a. o.º	標	一	百0分の採引で	J J.		事業	業実施 1スト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計画 -			暮	歳以上の病弱なひ らしの方に対し,緊	急通報システム	な貸与し,急病,災		暮らしの	上の病弱なひと!)方に対し, 緊急	通報システムを	貸与し,急病,災	事業	(貴 (A)	6,121千円	6,943千円	8,532千円	0千円
根拠法令等	つくばす	市ひとり暮らし高齢者等緊急通報シ	事 者等	害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り,高齢 事 者等の不安を解消するとともに,生活の安全を確保す 業 る。				■ 書その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、高齢 ■ 書 者等の不安を解消するとともに、生活の安全を確保す						0千円	0千円	0千円	0千円
Z	ステム	機器設置要綱	計	請受付∶随意 受付	计後 訪問調査		計	る。 由詰受化	付∶随時 受付後	: 訪問調査		県	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類 A	任意	意的事業	毎/ 6月	月 お伺い電話に。 引 利用者負担額	よる安否確認 , ∜ 決定通知送付	犬況把握		毎月 ま 6月 利	3伺い電話による 用者負担額決定	安否確認,状況	2.把握	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制 一	執行体制 一部委託			1·3月 負担額徴収	₹			9月・3月	負担額徴収			そ(の他特財	617千円	221千円	257千円	0千円
=			利利	用者数∶213名(3月	末時点)		上半					_	般財源	5,504千円	6,722千円	8,275千円	0千円
			∥動 た。	月 お伺い電話による安否確認,状況の把握を行っ 、本人からの救急搬送の要請等は,状況に応じて協 員や親族と連絡をとりながら,救急車の手配等迅速				_				人件	費(B)	3,714千円	3,663千円	3,663千円	
60 心を図り 目 活の安全 的	全を確	日 寺の	績 対/	応ができた。		車の手配等迅速な	期活動実					正	従事 割合	0.50人	0.50人	0.50人	
7				利用者負担額決 ·3月 負担額徴収			績					内員訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
							╂						時職員等	無	有	有	
車			成 急 票	急通報 , お伺い電i 搬送だけではなく ,	話,協力員へのる	確認等により,救	上半期						Ěコスト + B)	9,835千円	10,606千円	12,195千円	
栗 機等を貸	資与す	高齢者等にペンダント型無線発信ることにより、急病その他の緊急時	果暮	成送だけではなく, らしの高齢者の安全	ス院・八所寺の 全確保に寄与で	きた。	成果	-				Н					
概 に迅速が 安 安の解消	ガラ週肖や生	切な対応を図り,当該高齢者の不 活の安全を確保する。						_				30 年					
			調して	とり暮らしの対象者 ケースもあり, 利用	であっても協力	員になる人がいな	課					度 当 初					
	1_		課しいる。	ケースもあり,利用	条件の見直しの)検討が必要であ	題	-				積量算					
H28 環境	1-		事業	(n) :	│ 改善目標 <i>の</i>	D		 事業の		改善目標の	I	根拠					
関連 性 ISO			進捗	找況 達成	進捗状況	连队		<u> </u>	-	進捗状況	-						
14001	-		評	可効性 中:適切な 	成果が得られて 		評	有効性 一 対率性				H30年		理由 -			
環境 関連 - 性			l ''''	の本性 中・週のな 合評価 B:成果・費			一一個	総合評				の方向	可性 -	连田			

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

2	会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	6,433千円	7,230千円	8,827千円	0千円
る経費全体	総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
全体	総事業コスト	10,890千円	11,626千円	13,223千円	

事務事業	美名 02 て)とり暮らし高齢者愛の定期便事業	指標名		T 1107左座	T 1100左座 T	1100	2左京	指標種別	成果指標	T 1100左座		: Ha o HI TH	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-,,,,,,,++++++++++++++++++++++++++++++	5 l. - l- - 7
戦略プラ	ラン	- -	目標値	H26年度 140名	H27年度 100名	H28年度 100名		9年度 10名	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		信信の做安	年度木現仕	, 利用を続けて	いる人を拍信	₹ ८ 9 る。
		- -	実績	78名	45名	50名											
総合戦	四夕				H28年度	<u> </u>			H2	9年度]](の他の指標	,			
総口牝		- - -	改美足	生委員やケアマネ	ジャーの合業等	で仏の左字短が東	改美	尼州系	員やケアマネジャ	の会議学では	4の左字短が東		の他の指標	-			
				とともに事業周知を		て他の仕七個仙事	■目標		員でグイベント		也少在七個仙子		事業実施				
個別計	画 -		信										コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
				守りが必要な70歳	い トのひとい草	こし三齢老を対免		70歳以	トのハレハ草にし	三齢老を対免に	是士祖2同	事	事業費(A)	312千円	287千円	295千円	0千円
根拠法令	 うくに	ば市愛の定期便事業実施要項	事 に	,週3回乳製品を配事業者から市に連	己達する。不在時	や緊急時には配	事業	乳製品	70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に,最大週3回, 乳製品を配達する。配達時に事前の連絡がな〈不在 だった場合,本人や親族等に連絡を取り,安否確認を行				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
10,272	(, , ,)		計絡	を取り,安否確認を行う。			計画	う。	たった場合, 本人や親族寺に理論を取り, 安古確認を行う。				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	類 A 任	E意的事業		請受付:随時				申請受	付∶随時			内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	制一部	委託										-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
-				f規利用申込者数∶13名 引用者数∶50名(3月末時点)									一般財源	312千円	287千円	295千円	0千円
事 業 ひ。	とり暮らし			•	,	あに 見土油2回	上半期活	+- 朝 舌 -				人	人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
		保持·孤独感解消を図るため。	実乳	70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に,最大週3回, 乳製品を配達した。配達時に事前の連絡がな〈不在だった場合,本人や親族等に連絡を取り,安否確認を行った。			刺動に					Ī	従事 割合	0.10人	0.10人	0.10人	
пу			た				績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
													臨時職員等	#	無	無	
			成昨	年度の新規利用申	■込4名に対し, ⁴	今年度は倍以上の	上半期						事業コスト (A + B)	1,055千円	1,020千円	1,028千円	
事 707	歳以上の 製品を安	ひとりで生活している高齢者に,週3回 否確認を兼ね配布する。不在時や緊		込があり、より多くのな見守りを行うこと	のひとり暮らし高	が齢者に対して定期	成	-							<u> </u>		
篇 急	時には事	業者から連絡が入り、高齢福祉課が に連絡を取ることで安否確認を行う。					果					H 30 左					
要	C.~											年度当					
			課今	後も継続的に事業	周知を行ってい	〈必要がある。	課題	-				■ 初 ■ 積					
H2	- -	-					~=					算根					
環境関連	竟 連 _		事業		改善目標の 進捗状況	ア 達成		<u> </u> 事業の 발捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001					<u> </u>	-		有効性	<u> </u>		<u> </u>						
環地	H29 環境					評価	効率性	<u>±</u> -			H3	0年度 方向性	理由 -				
関注			∥ ""	合評価 B∶成果·費	用対効果の向上	に努めつつ継続実施		総合評	価 -			O7	71-71-1				
												1					

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	29,882千円	29,293千円	31,554千円	0千円
る経費全体	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
全体	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

事務	事業名	01 高	齢者生きがい活動支援事業	指	標名 行	事参加人数					指標種別	活動結果指	 標						
3- 3/3	5	0. 1231				H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	おひさまサン する。	サン生き生き	まつりの参加。	人数を指標と
戦略	プラン	- -	- -	目目	標値	1,800名	2,300名	2,300名	2,3	800名	-	-	-						
				実	[績	1,800名	1,950名	1,950名											
総合	戦略						H28年度				H	29年度	-] _{そ(}	の他の指標	シルバ-クラ	ブ大会参加	人数550名	
	-	- -		改善目	り参加丿	く数の偏りが	「あるため」会場戍	いては,地区によ 内の席の配置を工 た種目もあるため,	善善	屋内会均	おひさまサンサン生き生きまつり実行委員会において, 屋内会場と屋外会場で実施するメリット・デメリットを十 分に協議して,次年度の開催について方針を定めてい					シルハ・クラ	ブ数 132団体		
/田 豆	l÷i			標	新たな利	こな種目の検討を行う。		C1± 11 000 01 C00 1	標	\(\(\),		が 屋に ング・で] E C \C \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
1回力!	引計画	-												哥	事業費(A)	13,496千円	12,827千円	13,718千円	0千円
根拠氵	法令等	_		事業計	7月 第	第28回つ(ば	市シルバークラフ	プ大会	事業	7月 第	 7月 第29回つ〈ば市シルバークラブ大会				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
12327	2 ()			計画	10月 ま 4月~3月	ひさまサン [・] 月 シルバー	市シルバークラフ サン生き生きまつ ・クラブ育成支援	01)2016	計画	10月	のさまサンサン 月 シルバーク:	/ /生き生きまつり ラブ育成支援	2017		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	美分類	A 任i	意的事業											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	示体制	全て委	託							\vdash				$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
=	事				開催日	∃:7月5日	レバークラブ大会	:]						一般財源	13,496千円	12,827千円	13,718千円	0千円	
業の	能力に	こ応じた社会参加活動を通した,高齢者の	活動	(おひさ	参加者数:550名 【おひさまサンサン生き生きまつり2016】 開催日:10月15日)	人件費(B)	2,229千円	2,198千円	2,198千円		
の目的	生きが	ハづくり	りと健康の保持を図るため。	実績	開催日 : 10月13日 参加者数 : 1,950名 実行委員会 : 7月 , 9月 会場の席の配置や種目の検討を行った。									Ī	従事 正割合	0.30人	0.30人	0.30人	
CH														内訳	時間外 員 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
						Z-WOMBORDE (PER O IXII) CTI J Ze				-			1 [臨時職員等	無	無	無		
_	·シル/ 状贈呈		ラブ大会・・・役員功労者表彰 , 感謝 会等	БÜ	高齢者が	が一党に会し	,交流する場を	設けることで高齢者	上半期						事業コスト (A + B)	15,725千円	15,025千円	15,916千円	
業の	·おひさ と合同	まサン 開催。ī	ノサン生き生きまつり・・・障害福祉課 高齢者と障害者が一堂に会し,ス	果	の生きた	がいづくりに	寄与できた。		"∥期 ∥成 ∥果					Н					
概	・シルノ	バークラ	リエーションを楽しむ。 ラブ育成支援・・・年間を通じてシル 合会の事務局として支援する。							-				30 年					
	ハーク	ノノ连	ロ云の事務向として又抜りる。	钽	亚成276	宇宙 トバカピ	オ(层内会提)で	事業を実施してい	訓課					年度当初	[-				
								も寄せられている。						初 積 算	į				
	H28 環境	<u> </u>		-	古状の		小羊口===	n I		声楽の		小羊口挿へ		₩₩₩	1				
ISO	関連 上性				事業の <u>基捗状況</u> T	達成	改善目標の 進捗状況			事業の <u>進捗状況</u> T	-	改善目標の 進捗状況	-	,,,					
14001	001			有効性	中∶適切な	な成果が得られて	こいる		有効性	<u> </u>									
	H29 環境 関連 -			評価	効率性	中∶適切な	な費用対効果が得	とが得られている 評価 (m)	評価	効率性	<u> </u>				30年度 方向性 -	理由 -			
	性				総合評	価B∶成果・費	費用対効果の向上	に努めつつ継続実施	į	総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		29,882千円	29,293千円		0千円
る経費全体	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
全休	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

事務事	業名	02 高年	年齡者労働能力活用事業費補助	指	標名	2約件数					指標種別	活動結果指	票						
5 575 5						H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	シルバー人材	オセンター事業	美の契約件数	
戦略プ	プラン	- -			標値	5,100件	5,400件	5,500件	5,60	00件	5,600件	5,600件	5,600件						
		- -		美	ミ績	5,200件	5,058件	5,009件											
総合単	线略				1		H28年度				H2	29年度		そ	の他の指標	-			
				改善		ノルバー人材センターの事業について積極的に関わり E持ち,事業の把握と状況確認を定期的に行う。			改善目	 シルバ- を持ち。	- 人材センターの 事業の把握と状	D事業について利 代況確認を定期的	責極的に関わり うに行う。						
個別章	:上面 :	宣	福祉計画	標	[2,3,5				標	23337				1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间分分百		미씨	титет е											-	事業費(A)	11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円
根拠法	· 今 笙	高年齢	会者労働能力活用事業費補助金交 「	事	小丝針	-団法人つ(げる	もシルバー 人材:	カンターが円滑か	事業	 小益計医	公益社団法人つ〈ば市シルバー人材センターが円滑				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
IKJÆ/A	, , ,	付要綱	9	計画		☆益社団法人つ〈ば市シルバー人材センターが円滑な 『営ができるよう、補助金を交付する。					できるよう,補助	ク / /J / J / F / G		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分	分類	E 補具	协金·負担金事業											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行位	執行体制 補助金(直接)				-									$\left\{ \ \ \right\}$	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車									上半						一般財源	11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円
業局の対	高齢者 お業機	ばの生きがいの充実,社会参加の促進及び 機会の拡大を図り,高齢者福祉の増進に資		: 生儿	6月 高	6月 高年齢者労働能力活用事業補助金交付要綱によ			期 活)	人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
	るため		3人で囚グ、问题、日間に20名にに	実績	11,00 (יו	Ĵ11,000千円を交付			■加	Ī				従事 正割合	0.10人	0.10人	0.10人		
															時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														-	臨時職員等	無	無	無	
車				成果	シルバ	一人材センター	- の円滑な運営で	を支援し,社会参 ミ,就業機会の拡	上半期						事業コスト (A + B)	11,893千円	11,883千円	11,883千円	
業の概要	\益社 ∃滑な	団法人 運営が	、つ〈ば市シルバー人材センターが 「できるよう,補助金を交付する。	果	大等に	である。	生さかりの允夫	: , 纵乗機会の拡	現成果	-				H 30)				
	概要				継続的を行っ	にシルバー人 ていく必要があ	材センターの事i る。	業把握と状況確認	課題	-				年度当初積算規	<u>[</u>				
環	120 景境 関連 <u></u> 性				┃ 事業の 進捗状況		改善目標の 進捗状況	连风		┃ 事業の ■捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	根拠					
14001 H	4001 - H29	- -		評	有効性		成果が得られて 毎日対効果が得		評	有効性					30年度	理由 -			
関	環境			評価一 効率性中:適切な費用対効果が得られている一 総合評価B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施									07	方向性	连田 -				

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		29,882千円	29,293千円		0千円
る経費全体	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
全休	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

事務事業	宮 03 いきいきサロン事業	指標名	名 利用者数	 数					指標種別	活動結果指	票						
3 - 3/3 3 - 2/4			H26 ⁴	年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	利用者数			
戦略プラン	/ - - -	目標値	直 2,70	00名	2,700名	2,700名	2,7	2,700名 2,700名 2,700名 2,700名									
		実績	2,34	2名	2,327名	2,606名											
総合戦略				H	28年度				H2	9年度		その	他の指標	_			
									向くことができ 拡充していく。	ない高齢者も多	〈いるため , 出						
個別計画		標		標						業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
												事	業費(A)	4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円
根拠法令領	等 -	事利業る	川用者が少な 。開催箇所	シリメニュ について	ーは廃止し,新 前年同様4か所	規講座を開設す で実施し,出前講 講座を2講座程度	事業	 前年同様	4ヶ所で実施し	, 出前講座につ	いては拡充す	匤	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		計座開	をについては 開催し,利用:	t拡充をす 者の拡大	⁻ る。特別サロン を目指し事業を	′講座を2講座程度 ⋮実施する。	計画	る。利用者	当の拡大を目 指	旨し,新規講座等	も開設する。	!	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業		-									内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	全て委託	市	カ在住おお	うまいわらの意		 象に,4会場(老						7	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
<u> </u>			福祉センタの動産を	ーとよさと 2ンター . :	た、市民研修セン 大穂交流センタ	ックー,茎崎農村 ー)で実施。3ヶ月 基づき講師を派遣 ができない高齢	上						一般財源	4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円
┃ 爭 ┃ ┃ 業 ┃ 同齢		活し	さにメニュー サロンを開作	-表を作品 催した。会	戏し,メニューに ≩場へ出向⟨こと	基づき講師を派遣 ができない高齢	半期活						件費(B)	743千円	733千円	733千円	
日的目的	充実を図るため。	実 者 績 【3	旨に対しては 実施回数】	こ対しては,出前サロンを実施した。 施回数】								正	従事 割合	0.10人	0.10人	0.10人	
Д Э		出	計サロン 2	常サロン 241回 2,100名 前サロン 24回 411名 31サロン 6回 05名			実績					内買訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
		特	別サロン 6回 95名									盬	品時職員等	無	無	無	
事を	福祉センター等を会場として市内6箇所に	成高	高齢者の社会	会参加の値	足進と, 生きがに)づくりに寄与でき	上半期						業コスト A + B)	5,317千円	5,443千円	5,865千円	
業 て,高 の 開催 概 施し	高齢者が自由に参加できる講座を曜日ごとに する。また,小地域に出向いて出前講座を実 ている。講座は,体操・歌・絵手紙・フラダンス		-0				成果					H 30					
要 など。 H28	- - -	課会場へ出向くこと				ことができない高齢者も多くいるため,今 課 - を拡充していく必要がある。 題 -						年度当初積算根	-				
環境 関連 性	関連 - 性		業の 5状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の 基券状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001	- -			:適切な店	成果が得られて	เาอ		有効性	-								
H29 環境 関連	環境	評価	効率性 中	:適切な費	費用対効果が得	られている	評 効率		-				年度 -	理由 -			
関連	松	総合評価 B:	成果·費用	月対効果の向上に	- 努めつつ継続実施		総合評価	i -									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		29,882千円	29,293千円		0千円
る経費全体	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
全休	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

重殺重	業名 04	健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ 大会	指標名	名 参加人数					指標種別	成果指標							
3-003-2	ж ц о .	大会		H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の)概要	予選及び市人	会に参加した	た人数を指標と	さする 。
戦略プ	ラン -		目標値	值 400名	450名	600名	60	00名	-	-	-						
	-		実績	441名	579名	560名											
総合戦	战略 -				H28年度			H29年度					の指標	_			
	-			試験試験試験は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、					改善 善社会福祉協議会との連携のもと,競技内容を周知し参 目 加者募集の広報活動を行う。								
個別計	⊦imi		標		標								実施 くト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	-											事業質	費(A)	662千円	606千円	1,554千円	0千円
根拠法 ^{<}	今等 -		事業計画	月,5月 実行委員 月 市報による広報 月 市北部及び南部 月 つくば市大会(利	会 夏,シルバークラフ	グ会員への広報	事業計画	4月,5月] 実行委員会 報による広報,シ	ンルバークラブ会 ・選(種目 : グラウ I : グラウンドゴル	員への広報	国庫	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
			計 6	月 市北部及び南部 月 つくば市大会(和	鉛予選(種目∶クラ 種目∶グラウンドコ	ヮワンドコルフ) ゴルフ , ゲートボー	計画	6月 つ	北部及ひ南部予 〈ば市大会(種目	'選(種目∶クァワ]∶グラウンドゴル	ンドコルフ) ᠈フ,ゲートボー	見見	5出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分)類 A	任意的事業	ル	ν, ペタンク , クロッ ^ク	ケー , 輪投げ)			ル , ペタ 	ンク,輪投げ)			内訳地	方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	≤制 全で	て委託	4)	月,5月 実行委員	会			-				その	他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
#				月 市報による広報	員,シルバークラフ	グ会員への広報	上半					—舟	段財源	662千円	606千円	1,554千円	0千円
尹	高齢者に	 者に適したスポーツを通じて健康の維持増 ストトキに、地域関の充済を深め、明る/洋	44 開	予選会】 開催日:5月19日(ī	崔日:5月19日(南部),5月25日(北部)							人件	費(B)	743千円	733千円	733千円	
┃の 進 ┃目 力 ┃的	を図ると	こともに , 地域間の交流を深め , 明る〈活 長寿社会を推進するため。	実に	種目:グラウンドゴルフ つくば市大会] 開催日:6月1日 種目:グラウンドゴルフ,ゲートボール,ペタンク, 輪投げ					-			正	従事 割合	0.10人	0.10人	0.10人	
13													寺間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
			子	3選会を含む参加者	6総数:560名			-				臨時	職員等	無	無	無	
	位シリオ		成一高	弱齢者が愛好するス	、ポーツ競技を通	して,健康の保持	上半期					事業: (A+		1,405千円	1,339千円	2,287千円	
┃ 業 利 ┃ の ん ┃ 概 ゴ	用して募 スポーツ ルフ・ゲ	募集,茨城県健康福祉祭いばらきねんり ♥大会の予選会として市大会(グランド ートボール・クロッケー・ペタンク・輪投	果増	曾進や地域間の交流 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	流を図ることがで も	きた。	別成 果					H 30					
н	·)を開催 - 1 28			マ回開催についても 参加者募集の広報浴			課題	-				年度当初積算根:					
関				業の 達成 送状況	改善目標 <i>0</i> 進捗状況			事業の 生捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001		-	;	有効性 中:適切な	は成果が得られて	เกอ		有効性	ŧ -								
環	29 境 速		評価	効率性 中:適切な	な費用対効果が得	导られている	_評 る 価	効率性	-			H30年』 の方向		理由 -			
		··· —	総合評価 B:成果·費	費用対効果の向上に	に努めつつ継続実施	┨	総合評化	価 -			,513						

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る タ	総事業費	87,242千円	90,011千円	95,802千円	0千円
る経費全体	総人件費	10,297千円	14,902千円	14,902千円	
全体	総事業コスト	97,539千円	104,913千円	110,704千円	

事務事業名 01 敬老祝金給付事業 指標名 敬老祝金給付数 指標種別 活動結果指標 戦略プラン 日標値 実績 19,754人 20,551人 総合戦略 H29年度	H32年度 -	指標の概要	1年以上つ	(ば市に居住し 歳以上の対象	ている75歳以	上,88歳,			
戦略プラン 目標値			100歳,100	双以上の別家	1年以上つ〈ば市に居住している75歳以上,88歳, 100歳,100歳以上の対象者への給付数				
以28年度 U28年度					有への給り数				
総合戦略 H28年度 H29年度									
		その他の指標	票 -						
改	1るので , 対象								
個別計画 -			H27年度決算	印 H28年度決算	印 H29年度当初	H30年度当初			
・一般敬老祝金 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を	を贈呈する.	事業費(A)	72,432千円	75,225千円	78,378千円	0千円			
事 75歳以上(3,000円) 約20,300人 事 75歳以上(3,000円) 約21,500人	CAH I / O	国庫支出金	仓 0千円	0千円	0千円	0千円			
計 9月 間勿音笛と順次対象有べ間品分を贈至する。 計 9月 間勿音笛と順次対象有べ間品分を	を贈呈する。	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類 A 任意的事業	贈呈する。	内 訳 地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制 一部委託 一般敬老祝金		その他特則	0千円	0千円	0千円	0千円			
9月 簡易書留で対象者へ商品券を贈呈した。 75歳以上(3,000円) 19,741人 事 ・特別敬老祝金 半		一般財源	72,432千円	75,225千円	78,378千円	0千円			
┃ 業 │ 長寿を祝福し敬老の意を表するとともに , 福祉の ┃ 動 │ 9月 簡易書留で対象者へ商品券を贈呈した。 ┃ 期 │ 39章(40,000円) 312 ↓		人件費(B)	2,229千円	3,663千円	3,663千円				
実 101歳以上(20,000円) 712人 101歳以上(20,000円) 67人 9月 対象者宅を訪問し,祝金(現金)を贈呈した。 実 実 100歳(30,000円) 31人		従事 正 割合	0.30 كا	0.50人	0.50人				
		内員 時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
8月1日の基準日において,1年以上つ〈ば市に 居住している方が対象となる。		臨時職員等	第	# #	無無				
「一般敬老祝金 一一般敬老祝金 一一般敬老祝金 一一般敬老祝金 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		事業コスト (A + B)	74,661千円	78,888千円	82,041千円				
■ スーパー・		н							
┃ 概 年度内88歳及び101歳以上の方へ簡易書留で商		30 年							
また,年度内100歳になる方へ,老人週間の前後 対象者が年々増加している。 2週間以内に福祉部・保健医療部職員が自宅を対象者が年々増加している。 訪問し、敬老祝金(現金)を給付する 課 88歳及び101歳以上の方は,一般敬老祝金と特別敬老 課		度							
訪問し,敬老祝金(現金)を給付する。		□ fin							
H28		根							
進捗状況	-								
14001		H30年度	- 理由 -						
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		の方向性							

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	87,242千円	90,011千円	95,802千円	0千円
る経費全休	総人件費	10,297千円	14,902千円	14,902千円	
全体	総事業コスト	97,539千円	104,913千円	110,704千円	

事務事業名	02 敬老福祉大会事業	指標名	名 参加者数					指標種別	成果指標							
7 <i>1</i> 17771	50000000000000000000000000000000000000		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標	の概要	敬老福祉大会	会の参加者数		
戦略プラン		目標値	3,200人	3,300人	3,600人	3,8	00人	3,800人	3,800人 3,800人							
		実績		3,485人	3,794人											
総合戦略	総合戦略			H28年度			Ta 1= 1:		9年度		その作	也の指標	-			
		改善多	るの高齢者が参加する	できるように,バ	スの停留所やルー	改善善	人員配置	置等に配慮する。	るため , 駐車場 <u>/</u>							
			を見直す寺して参加 長能の内容の充実を	見直す等して参加しやすい環境を整える。また , プロ 他の内容の充実を図る。			送迎バスの運行経路等を調整し,高齢者を安全に会場 まで送迎する。			事業実施コスト		 H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
個別計画	-	- 1		記直す寺して参加しやすい環境を整える。また、プロ 目 はの内容の充実を図る。 標 !								<u> スト</u> 費(A)	14,524千円			0千円
		事 7	月 敬老福祉大会第 (方針決定) 月 敬老福祉大会案		開催	事	5 P #b	, ********	-禾昌公			車支出金	0千円	0千円		0千円
根拠法令等	-	事 (7) 業 (8) 計	月 城名価値へ会系 月 返信用はがきに バスルート確	よる参加者人数	把握	業計	7月 案内通知送付				≠叉山並 関支出金	0千円	0千円		0千円	
事業分類	A 任意的事業	画 9/	月19日 つくばカピス 1月 敬老福祉大会	トにて開催	会開催	画				<u>_</u>	·文山亚 ———— 地方債	0千円	0千円		0千円	
執行体制			検討結果を予算									の他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
17013177123		7	口		0 522	L						- -般財源	14,524千円			0千円
事多年に	わたり社会の発展に寄与してこられた70 の高齢者に対し,長寿を祝福し敬老の意 るとともに,高齢者の健康づくりや社会参	汪	月 敬老福祉大会第 月19日 敬老福祉大		0,333/	上半期							7,325千円	9,041千円	9,041千円	
┃ 台 を表す			・参加者数 3,794名 ・プロ芸能 鯉川のぼる,三船和子 ・バス送迎 65台賃借 ・配布物 赤飯,紅白まんじゅう,お茶			期 活 - 動				正	従事	0.60人	0.80人	0.80人		
的加を促	進するため。	製				実 績					地間	割合 時間外		1200.00時間		
												<u>勤務</u> 時職員等		有		
						上业					 事	<u></u> 巻コスト	21,849千円			
事 事 業 実行委	 員会で内容を企画協議する。 広報で開催		語齢者の出席者同士 N一日を過ごすことか		:祝いながら,楽し	半期成	-				(A	+ B)		20,000 1 13	20,10.113	
の のお知	16せを掲載し、該当者あてに案内状を送付 福祉大会を開催する。					果	成				H 30					
要											年 度 当 初					
		課した	対象者及び参加者数)開催が困難になっ ⁻ 送迎バスの駐車場の	女の増加により, てきている。	一会場(カピオ)で	課題	-									
H28	- - -	·j	送迎バスの駐車場の	つ確保が難しい。		超					積 算 根					
環境 関連 -			業の 達成 球状況 達成	改善目標の 進捗状況	達成		<u> </u> 事業の = 世状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001	- -		有効性 中:適切な		113		有効性	-	~J/ 1/1/1/U							
H29 環境 関連 -	H29	評価	効率性 中:適切な	費用対効果が得	が得られている 評価		効率性				H30年 の方向		理由 -			
性			総合評価 B∶成果·費	用対効果の向上は	こ努めつつ継続実施		総合評価	価 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	87,242千円	90,011千円	95,802千円	0千円
る経費全体	総人件費	10,297千円	14,902千円	14,902千円	
全体	総事業コスト	97,539千円	104,913千円	110,704千円	

					1612	5 1.16 1.10													
事務事	事業名	03 長寿	身をたたえる事業		指標:		1107年度	1 1100年度 1	1100	左在	指標種別	活動結果指標		++	まるを	ケー・	井口士加京で	100歩の社会も	۷ ۱ %/-
戦略	プラン		- -		目標	H26年度 値 -	H27年度 -	H28年度 -	ПΖ)年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	_ fe	信が成安	1年及内に認	生日を迎える1	100成の別家名	i ∕∕ ÿX
			- -		実績	857人	34人	33人											
総合	戦略						H28年度				H2	9年度	•	そ(の他の指標	-			
					改善 4	x人の居所を確認し	,できる限り本人	、へ贈呈する。	改善目	 本人の/	人の居所を確認し,できる限り本人へ贈呈する。								
個別	ᅪᇑ				標									Ī	事業実施 コスト	H27年度決算	用28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
他力														事	■業費(A)	286千円	262千円	361千円	0千円
抽動物	±办笙	巨丰た	たたえる事業実施要	5TA	事	月 対象者約35人	、古体社問)は	i ১남 차 F 7 (학교 소 모	事	事 業 9月 対象者約40人へ直接訪問し,ほう状および記念品					国庫支出金	2 0千円	0千円	0千円	0千円
化对处/2	4 7 3	区分で	ににんる事業夫肥女	では	計画	月 対象有約30人 語呈する。	\且按初回∪ , ld	ころのより記念品	計画	を贈呈す	家有約40人へ直 する。	[按初回し, ほり	Mのよい可以回		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	A 任意	節事業									内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行	体制	職員の	み											┨ <u>L</u>	その他特則	0千円	0千円	0千円	0千円
事									上半						一般財源	286千円	262千円	361千円	0千円
業	高齢者(の長寿	をたたえ、高齢者を	敬愛する意識	活動9	9月4日,9月16日 長寿をたたえる事業対象者33人へ訪問し,褒状および記念品を贈呈した。			 				J	(件費(B)	743千日	2,198千円	2,198千円		
の目的	の啓発さ	を図る	ため。		実に										1	0.10	0.30人	0.30人	
														内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
									1						臨時職員等	章	無	無	
事		rn 	/ 1 18 - 1 - 12 - 12 - 14 - 14 - 1	, a a de a t a d	成長	長寿を祝福し,敬老の	の意を表し,高齢	者のいきがいづく	上半期					=	事業コスト (A + B)	1,029千円	2,460千円	2,559千円	
業の	3月1日: を年度に 翌以内に	現任し 内に迎 に離る	〈ば市に住所を有し える方に対し, 老人 が自宅を訪問し, ほ	7100成の誕生日 週間の前後2週	果 リ 	に貢献できた。			成果			Н							
概要	する。	に搬兵	ルローCを別向U, la	りがみで周王										30年					
					 課 」	ᆫᆝᅳᆣᄼᆃᅷᅟᅌ	たいを ま取りた	フーレがタロ	課					度当初					
		· -		-	課 ⁴ 題	×人には会えず,家	佚に汲り 形になっ	ることが多い。	題	-			∥積						
	H28 環境 関連 _	•		•	事	業の 違式	│ 改善目標 <i>の</i>	D 達成		 事業の		改善目標の	1	算根拠					
ISO	性				進技	送 状況	<u>進捗状況</u> は成果が得られて	. 上 连 , 上 ,	i	態 技状況 ■ 有効性	<u> </u>	進捗状況							
14001	H29 環境			評	効率性 中:適切な			有効 評 効率					H3	0年度	- 理由 -				
	関連 - 性				∥ '''' ⊢	総合評価 B∶成果·費			- 1	総合評				(3)	方向性				

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
全体	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

事務事業:	名 01	南高	令者用福祉タクシー助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指	標名 助成	成券交付者数 3000000000000000000000000000000000000	文 文				指標種別	活動結果指	票						
						H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	扌	指標の概要	交付者数			
戦略プラン	ン -	-	- -	目村	標値	1,500名	1,600名	1,650名	1,70	00名	_	_	_						
	-	-	- -	実	績	1,458名	1,546名	1,527名											
総合戦略	놀 -	-	- -				H28年度			ı	H2	29年度		そ	の他の指標	L			
	-	-	- -	改善目	 期限切れ し,助成者	の助成券を きを預かる際	預かることがない その確認について	」 いよう,協力店に対 「周知徹底する。	改善目										
個別計画		*	遠か	標					標	, , , , ,					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		M4. EL.	1997年11月		 65歳以上	のひとり墓を	こしひがか続けた	-の高齢老世帯					Ę	事業費(A)	6,075千円	6,160千円	6,494千円	0千円	
根拠法令	等つ	くばす	「高齢者タクシ-利用料金助成要綱	事業	または70 運賃を助	のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯, 歳以上で市民税非課税世帯の方に,タクシー 成する。(初乗運賃券12枚)			事業	または70歳以上で市民税非課税世帯の方に、タクシー運賃を助成する。(初乗運賃券12枚)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				計画	 申請受付∶随時 協力事業所受付∶随時					申請受任		£n+			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	į Α	任意	的事業	1			^詩 業所へ協力申出	書送付)		協力事第 (1月 現 	業所受付∶随時 見年度協力事業/	所へ協力申出書	送付)	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	行体制 職員のみ 													$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事					 助成券交	付者数∶1,52	27名		上半						一般財源	6,075千円	6,160千円	6,494千円	0千円
業 65歳 世帯	以上 , また	または70歳以上で市民税非課税世帯のタ ▮	活動	65歳以上	65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯, または70歳以上で市民税非課税世帯の方に,タクシー								,	人件費(B)	743千円	1,466千円	1,466千円		
日 ソン・			刃乗運賃を助成することにより,高 援及び社会参加を促すため。	実績	運賃を助成した。(初乗運賃券12枚)					期 活 動 実					正割合	0.10人	0.20人	0.20人	
					1月 現年	度協力事業	(新へ協力申出語	書送付	績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														Ш	臨時職員等	有	有	有	
事				成	□□勘⇒の	幼山士塚:	社会参加に役立	つことが できた	上半期					1	事業コスト (A+B)	6,818千円	7,626千円	7,960千円	
の る。 ほ	申請を	を受け	するタクシーの初乗運賃を助成す t,審査し該当者に12枚の助成券	果	同梱行の	沙山又扬,1	社去参加に 役立		成果	-				H 30	0				
	E を交付する。 				昨年度の あるので 知する。	助成券を使 , 今年度のも	用して , そのまま らのかどうかの確	∈請求されることも :認を事業所に周	課題	-				1年度当初積算根	美				
性	関連 の送付が必要な場合も多れたの,送付先を 性 確認し,再配達による余計な自動車の運用 を防止する。 大気汚染の防止 H29 本人による助成券受取が難しく,家族等へ 環境 の送付が必要な場合も多れため,送付先を	進	 事業の 	達成	改善目標の 進捗状況	连风		 事業の 	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	<u> </u>						
14001		汚染の防止	≑ 亚	有効性	中:適切な	成果が得られて	113	有効性		-				20年 庄					
環境 関連		計価	効率性	中:適切な	費用対効果が得	引きれている	"		-				30年度 方向性	理由 -					
性					総合評価	B∶成果·費			用対効果の向上は	こ努めつつ継続実施	総合評価 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
全体	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

事務事	事業名	02 あん	ん摩 , マッサージ , 指圧 , はり及び	指标	標名助	成券交付者数	文			指標種別 活動約									
3- 3/3 -	F.Ж. I	ٽ_ اخ	う施術費助成事業			H26年度	H27年度	H28年度	H2	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	交付者数			
戦略	プラン	- -		目標	標値	700名	700名	800名	80	00名	_	_	_						
				実	淫績	779名	767名	769名											
総合	戦略		- -				H28年度				H2	29年度] _{そ(}	の他の指標				
					ることで	, 再送や受取	実に受け取りが !人の助成券の約	できる人に設定す 分失というような事	改善目	申請前にせもある。	請前に利用できる協力施術所を知りたいという問合 もあるので,助成券の裏だけでな〈協力施術所一覧 を用意して,周知や利用者からの問合せへの対応を			事業実施					
個別	計画		福祉計画	目標	態を減ら	5 ক.			標	行い,助	役を用息して、同知で利用者からの同日でへの対応を 行い、助成券の利用拡大を促す。					H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧山力り	可凹	□函₹≒	神仙		70歳以_	 70歳以上の高齢者に対し,あん摩・マッサージ・はり及 びきゅうの施術を受ける際の豊田の一部を明成する					上の高齢者に対	し,あん摩・マ・	サージ・はり及	号	事業費(A)	1,783千円	1,767千円	2,238千円	0千円
根拠沒	去令等	つくば	市あん摩 , マッサ-ジ , 指圧 , はり及 う施術費助成要綱	事業		きゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成する。 1枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は なる)			事業計	1(1枚で	びきゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成する。 (1枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		O, G, M	刀心的复数以女 綱	計	 申請受(寸・『宿時			計画	申請受信					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	A 任i	意的事業		協力事業	業所受付∶随晍	^诗 業所へ協定書送	5付)		協力事業	業所受付:随時 見年度協力事業	所へ協定書送付	寸)	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	職員の)み											$\parallel \parallel$	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	事	₹, マッサージ等の施術費を助成することに		助成券多	交付者数:769	名		上半期活動					一般財源	1,783千円	1,767千円	2,238千円	0千円		
事 業	あん摩		活 70	70歳以 ₋ びきゅう	70歳以上の高齢者に対し、あん摩・マッサージ・はり及びきゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成した。(1									人件費(B)	743千円	733千円	733千円		
			D健康維持に寄与するため。	実	枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は異な					-				Ī	従事 別合	0.10人	0.10人	0.10人	
цу					12月 現年度協力事業所へ協定書送付				実績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
					-				\blacksquare					+	· 臨時職員等	有	有	有	
事	70帯以	⊦の言	「齢者に対し,あん摩,マッサージ,	成	 あん摩 ,	マッサージ等	の施術費を助成		上半期						事業コスト (A + B)	2,526千円	2,500千円	2,971千円	
業の概	指圧 川 部を助 保険法	まり及で 或する , その	びきゅう施術を受ける際の費用の一 (年間最大1,000円券×8枚)。健康 他の法令により医療に関する給付と		高齢者(の健康維持に	寄与することが	できた。	成果	-				H 30 年					
要	保険法,その他の法令により医療に関する給付さ して行われているものを除く。 大気汚染の防止 達成 H28 本人による助成券受取が難しく家族等へ				成券に比べて りに行う必要が		いので,事業周知	課題					度当初積算根	-					
	の送付が必要な場合も多いため,送付先を 確認し,再配達による余計な自動車の運用 を防止する。 プロ1 大気汚染の防止 本人による助成券受取が難しく,家族等へ		事業の 連捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況			 事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	:						
ISO 14001			有効性	中:適切な	成果が得られて	•		有効性	<u> </u>	1 10 10 10	-								
		評価	評し 効素性 中・海切り費用対効用が得られている 評し :			効率性	<u> </u>			 H30年度 の方向性		理由 -							
	性 確認し,再配達による余計な自動車の運用 を防止する。				総合評	面B∶成果·費	用対効果の向上に	上に努めつつ継続実施		総合評	価 -				J 1 3 1 1				

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
全休	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

事 務事	業名	03 t a 7	たきり高齢者理美容料助成事業	指標	票名 助品	成券交付者数	女				指標種別	活動結果指	標						
7.171	***	100				H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	交付者数			
戦略フ	プラン	- -		目標	禁値	150名	160名	160名	16	60名	160名	160名	160名						
				実	績	141名	150名	152名											
総合戦	戦略						H28年度				H2	.9年度		そ の	の他の指標	-			
						数が少ないの 見知を行う。	で,広報誌や窓	口での案内を通し	改善目		 利用者数が少ないので,広報誌や窓口での案内を通し 								
/田 見1章	計画	宁 歩	 香福祉計画	標	C -	-J/H C J /0			標	(4,7,7	-J/H C J /I			=	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间加	引四	可断犯	31年位12日		65告이 년	最以上の要介護4·5認定者またはねたきり状態の方 65歳以上の要介護4·5認定者またはねたきり状態の方							事	事業費(A)	532千円	512千円	556千円	0千円	
根拠法	令等	つくばで	市ねたきり高齢者理美容料助成事	毒	大対争に 宏で理美家を受ける際の費用の一部を助け				事業	を対象に		E受ける際の費用			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
15437272		業実施	也安純	計	申請受付	寸:随時	-1		計画	申請受付	寸:随時				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	分類	A 任意	意的事業	I		業所受付:随日 日度協力事	^時 業所へ協定書送	付)			業所受付∶随時 見年度協力事業/	所へ協定書送付	.)	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行的	「体制」 職員のみ									-				-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
± 4	事ねたき		11の京物表に対し ての尺字にもいて巫は		助成券3	交付者数∶152	2名		上半						一般財源	532千円	512千円	556千円	0千円
業 る	5理容.	りの高齢者に対し、その居宅において受け 及び美容料金の一部を助成し、利用者の	一生り しチュ	65歳以」	65歳以上の要介護4·5認定者またはねたきり状態の方 を対象に,家で理美容を受ける際の費用の一部を助成								人	(件費(B)	1,412千円	733千円	733千円		
目しの	り負担	を軽減	健康的な生活を支援すると共に,家族 軽減し,在宅高齢者福祉の増進に寄与	 ~	を対象に, 家で埋美谷を受ける際の質用の一部を助成 した。(4,000円券×2枚)					-				II.	従事 E 割合	0.19人	0.10人	0.10人	
的す	9 SIE	<i>)</i> 。			1月 現年	年度協力事業	美所へ協力申出	所へ協力申出書送付						内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										-				臨時職員等	有	有	有		
								る理美容料金の 的で健康的な生	上半期						事業コスト (A + B)	1,944千円	1,245千円	1,289千円	
業の発)で理 長理美	€容所 容を受	受介護4.5認定者または常時ねたきに行くことが困難な在宅の方が,出受ける際の利用料金助成を行う。年100円×2枚)を交付し、助成券は市	成果	活を支援	が成するとさい 受すると共に, 曽進に寄与で	家族の負担を軽	:のく健康的な主 経滅し,在宅高齢者	期成果	-				H 30					
要 0	概 間助成券(4,000円×2枚)を交付し,助成券は市 の協力理美容所で使用する。 大気汚染の防止 達成					成券に比べて かに行う必要?		にこので,事業周知	課題					年度当初積算根					
B	環境 関連 性 確認し、再配達による余計な自動車の運用 を防止する。		事業の 捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	達成		_ 事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠							
ISO 14001		する。		有効性	中:適切な	:成果が得られて	113		有効性	-	~37 1/1/0	1							
H H		人に。 送付 <i>f</i>	大気汚架の防止 	評価	効率性	中∶適切な	: 費用対効果が得	身られている					0年度 - 5向性	理由 -					
	確認し,再配達による余計な自動車の運用 を防止する。			'	総合評価	面B∶成果·費	用対効果の向上に	上に努めつつ継続実施		総合評価	西 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	17	シルバークラブ助成に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	11,067千円	10,783千円	11,188千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,229千円	2,931千円	2,931千円	
全体	総事業コスト	13,296千円	13,714千円	14,119千円	

車殺国	重業夕	01 571	レバークラブ育成事業	指標	票名 単位	īシルバーク	 ラブ数				指標種別	成果指標							
31077			Vバ			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	つくば市内に	ある単位シル	バークラブの[団体数
戦略	プラン			目標	票値	150団体	140団体	140団体	140	団体	-	-	-						
				実	績	140団体	134団体	132団体											
総合	戦略					ŀ	H28年度				H2	29年度	•] _{そ(}	の他の指標	_			
	-			改善	減少してい クラブ数に	じしているシルバークラブ会員数及び単位シルバー ・ブ数に歯止めをかけるため,若手の会員を中心とし 性性化に向けた具体的な提案・対策を講じる。						及び単位シルバ・ 全の交付要件等に							
/田 모		宣縣 李	خ ^{ار} غار خار	目標	て活性化	に向けた具作	本的な提案・対策	策を講じる。	改善	් වී.				-	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间水		同断? 1	福祉計画											事	事業費(A)	11,067千円	10,783千円	11,188千円	0千円
根拠	法今等	単位シ	ルバークラブ補助金交付要項 ニークラブ連合会補助金交付要項	事業	4月 補助 7日 補助]金交付申請]全交付(単(受付 カシルバークラ ⁻	ブ , シルバークラブ	事業	4月 補月 7日 補月	助金交付申請受助全交付(単位	そ付 シルバークラブ	シルバークラブ		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
TKJÆ7	7 7 7	シルバ	ニークラブ連合会補助金交付要項	計	連合会)		3月 活動活性 ⁽		計	■ 4月 補助金交付申請受付				県支出金	2,409千円	2,403千円	2,445千円	0千円	
事業	分類	E 補E	加金·負担金事業		0,1,0,1	, 12/3 , 2/3 ,	O/) /U±///U	ПУЯД						内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	f体制	補助金	(直接)												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車	事し地域では	での仲間づくり,健康の保持,知識や経験を た能力の発揮,社会活動への参画と貢献 いきいきとした高齢期の生活づくりを支援す 。		⊿日 補助]金交付申請	三公		上半						一般財源	8,658千円	8,380千円	8,743千円	0千円	
業の	地域で 活かし7		里儿	8月 補助]金交付		7.756壬四	■期)	人件費(B)	2,229千円	2,931千円	2,931千円		
目的	など,し るため。		実	・シリ ・シリ 6月 , 9月	レバークラブ , 12月 , 2月 ,	7ラブ131団体 7 連合会 3,000円 3月 活動活性	/,/30] F円 化委員会	動					Ī	従事 正割合	0.30人	0.40人	0.40人		
					., ., ., .	, , , , , , , , ,								内訳	時間外	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
					単位シル	単位シルバークラブ:定期的に会員同士の交流を深め 単位シルバークラブ:定期的に会員同士の交流を深め									臨時職員等	有	無	無	
=	補助金	を交付	 - と単位シルバークラブ及びシル		各種スポ		通じた生きがいと	と健康づくり,仲間	Ⅱ 十						事業コスト (A + B)	13,296千円	13,714千円	14,119千円	
争業の概要	円,301	呂以上	・し,各単位シルバークラブ及びシル 会会の活動を支援していく。会員数 600円,50名以上100名未満62,600 50名未満57,600円,30名未満 付。連合会に対しては,3,000,000円	果	シルバー クラブ大名	クラブ連合会	∷スポーツ大会 : ゙゙゙゙゙゙゙	:の開催やシルバ - :彰するなどして,	期成果	-				H 30)				
安	交付。 H28	- -	-				な及び単位シルル 構じて行〈必要か	バークラブ数減少 がある 。	課題	-				年度当初積算根	<u>[</u>				
	環境 関連 性 4001 H29			事業の 捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況		 事業の 進捗状況		-	改善目標の 進捗状況		拠	<u>L</u>					
ISO 14001				有効性	中:適切な	成果が得られて			有効性	<u> </u> -									
		評価	効率性	中:適切な	費用対効果が得	导られている	評価	効率性	<u> </u>				30年度 方向性	理由 -					
			総合評価	ĪB∶成果·費	用対効果の向上に	に努めつつ継続実施	i	総合評	価 -										

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	18	ふれあい元気広場管理に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	1,041千円	3,320千円	1,233千円	0千円
る経費全体	総人件費	1,486千円	1,466千円	1,466千円	
全体	総事業コスト	2,527千円	4,786千円	2,699千円	

				指標	三夕 協	設貸出延べ団					指標種別	活動結果指	<u> </u>						
事務	事業名	01 /3\:	れあい元気広場管理運営事業	3 🗎 1 🗆	* I	H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	™ H32年度	 指	指標の概要	団体への総	貸出延べ団体	* ∕	
戦略	iプラン			目標	票値	308団体	442団体	442団体		団体	440団体	440団体	440団体	"	113. 02 1700		×4~ · Hill	~^	
				実	績	442団体	363団体	453団体											
総台	計戦略						H28年度				H2	9年度	•	そ(の他の指標	-			
				改善善目			あい元気広場で るよう施設を整っ	グランドゴルフ等 <i>0</i> 借する				 除草剤散布等の実施時期や回数等の見直しを 者が快適に利用できるようにする。							
佃品	引計画	·		標		ハークかてさ	るよう心故を空	瀬 9 る。	目標	₩ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	有が快適に利用				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧山方		-												事	事業費(A)	1,041千円	3,320千円	1,233千円	0千円
却	法令等	つくば	市ふれあい元気広場条例·条例施	事	4月~6月 4日~3月	月 広場整備: 日 苯 添草:i	工事	3世、先行毛入わ、	事	 4月~3月	引 高齢福祉部	果窓口での広場賃	貸出業務	[国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
仅处	ムマサ	行規則		計	薬剤散る	布等の維持管	他化・駐車場・株 「理 課窓口での広場	地·生垣手入れ· は出業務	業計画	4月~12 1月~3月	月 広場の芝刈 月 樹木の伐扱	リリ,除草,施肥, 採,剪定等等の実	除草等実施 『施		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	美分類	A 任j	意的事業		1,1 0,			, дажуу						内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	示体制	一部委	季託											<u> </u>	その他特則	0千円	0千円	0千円	0千円
事					4~6月	広場整備工	事		上半期活動						一般財源	1,041千円	3,320千円	1,233千円	0千円
業の		ケーやその他のニュースポーツを通して, 皆の相互交流の促進を図ることにより,高齢	活動	_	・東側の樹木伐採抜根 , 芝張り(281㎡) ・西側の芝拡張(85㎡) 3 - 12日 - 茶刈り 除草刻数布 - 茶除草 (年2回)				_				J	(件費(B)	1,486千円	1,466千円	1,466千円		
目的	者の健	康を増	また。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	美	4月~12 1月 樹:	~12月 芝刈り,除草剤散布,芝除草(年2回) 樹木剪定(年1回)			動実績						+ 日 1 日	0.20人	0.20人	0.20人	
					4月~3月 貸出業務									内影	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
															臨時職員等	#	無	無	
事		が元	気広場のクロッケーコート・ニュース	7-70				ウンドゴルフのコ-	上 半 期						事業コスト (A + B)	2,527千円	4,786千円	2,699千円	
業の			の維持管理を行う。 元気広場の休憩所の維持管理を行	果	トが広か	がり,快適に利	用ができるように	になった。	成果	ľ				Н					
概要			窓口において施設の貸出を行う。 から無償で土地の借用をし,整備管							-				30年					
	理を行				利用者が	からグラウント	の芝の状態を良	良好にしてほしいと	訓課					度当知					
				題	の要望がに施設の	が多くあるため ひ維持管理を	り,高齢者が快過 する必要がある。	良好にしてほしいと 窗に利用できるよう 。	題	-				初積算					
	H28 環境 関連 _	<u>- -</u>	-		世光の		一小羊口捶布			車業の		加美口畑の	Ι	▋輯根					
ISO	関連 上性				事業の 捗状況	達成	改善目標の	上		事業の <u>き捗状況</u> 	-	改善目標の 進捗状況	-	,,,					
14001	H29	- -		評	有効性		成果が得られて		評	有効性				H3	0年度	-m -			
		価			費用対効果が得		価	効率性				の方向性		- 理由 -					
	性				総合評価	Ⅲ B∶成果·費	用刃効果の同上に	こ努めつつ継続実施	!	総合評価	ш -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	19	食事サービスに要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る タ	総事業費	6,558千円	6,804千円	7,155千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,972千円	3,663千円	3,663千円	
全体	総事業コスト	9,530千円	10,467千円	10,818千円	

		•	11					•											
事務事業	名 01 宅	尼配食事サービス事業	指标	漂名 利用者		1107左座		1100	о <i>г</i> . Б	指標種別				+	無の伽亜	 申請後,訪	問調査を行い	. 年度末現在4	×事業を継続
 戦略プラ	ン	- - -	目相	連値	6年度 00名	H27年度 280名	H28年度 290名		9年度 00名	H30年度 -	H31年 <u>/</u> -	支	H32年度 -	指	標の概要	して行って	ハる方を利用者	数として数える	3 ,
			実		07名	124名	140名					\rightarrow							
to A When	_					H28年度	1			H	29年度			 	- / 11-1	-			
総合戦				安否確認の	ための手	渡しの原則がな	:いがしろにされて 申請時や調査時に		安否確	認という事業の	目的をきちん	と理解	罕してもらえる	€0	の他の指	景 -			
			目標	再認識しても	もらい共有	すべい でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしょう しゅうしゅう しゅう		│ 目 │よう申請時や調査時に丁�� │ 標 │			丁寧に説明) 寧に説明を行う。			事業実施 コスト	H27年度決	第 H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計画	⋣			cc鉴N Lo	カレハ苺と	71. 宣热老卅世	の言数老に 言物		CE#N	65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の高齢者に , 高齢			事	業費(A)	6,558千日	马 6,804千円	7,155千円	0千円	
	~~ ~ / I	ᆥᆉᇊᄞᄼᆂᆚᆝᄀᇊᄽᄑᄱ	事	00歳以上の 者向け配食 取れた夕食	ひこり春ら サービス を、希望の	りい 高殿有世帝 事業所で調理し D曜日に配達す	・の高齢者に , 高齢 た栄養バランスの る。 た場合 , 本人や親	事	者向ける	配食サービス事	業所で調理	した栄	養バランスの		国庫支出:	金 0千月	円 0千円	0千円	0千円
根拠法令	·幸 つ(la	ば市宅配食事サ-ビス実施要綱	業計画	配達時に事族等に連絡	前の連絡を取り,安	がな〈不在だった で否確認を行う。	た場合,本人や親	業計画	配達時族等に	夕食を,希望の に事前の連絡が 連絡を取り,安	がなく不在だ 否確認を行う	った場 った場 う。	合,本人や親		県支出金	: 0千月	9 0千円	0千円	0千円
事業分類	類 A 任			┃ ┃申請受付∶隊	随時 受付	†後,訪問調査			申請受	付:随時 受付	乡, 訪問調査	ī		内 訳	地方債	0千月	9 0千円	0千円	0千円
執行体制	到 一部	委託							\vdash					. 7	その他特別	け 0千円	可 0千円	0千円	0千円
車		くい前注が凶難な同梱自にと良て肌良りる 上1) カレハ草に「三齢老乃が三齢老卅世		新規利用申 利用者数:1				上半							一般財源	6,558千月	马 6,804千円	7,155千円	0千円
ヺ	の及び調3 により 7		生儿				の高齢者に,高齢	期						人	件費(B)	2,972千月	3,663千円	3,663千円	
		・健康保持を図るため	及び同断有世帝 実 元 :め 績 [ナ配食サービス事業所で調理した栄養バランスの た夕食を,希望の曜日配達した。 時に事前の連絡がな〈不在だった場合,本人や親		動						正語	ᄞᄆ	0.40,	0.50人	0.50人		
				配達時に争 族等に連絡 	を時に事前の建語がなく不住だりた場合、本人で親 等に連絡を取り、安否確認を行った。			績						内	時間外 動務	0.00時	图 0.00時間	0.00時間	
															a時職員	等	有	有	
事 ひと	り暮らし	・高齢者世帯の高齢者に,高齢者向	成果	 業者がきざる その占等に!	み食なども	も対応可能なの ⁵	で,調査の際には い,健康保持と安	上半期							業コスト (A + B)	9,530千日	10,467千円	10,818千円	
業 け配 の の取 概 際,	記食サーし 双れた夕1 利用者の	ビス事業所で調理した栄養バランス 食を希望の曜日に配食する。配食の D安否確認が取れない場合や異変発		否確認に寄	与できた。	**************************************		成果						H 30					
H28	要 生時は,市職員が緊急連絡先に連絡·対応する。		課題	今後も安否で らえるよう申 がある。	確認という 請時や調	事業の目的をき 計査時に丁寧に言	きちんと理解しても 说明をしていく必要	課題	-					年度当初積算根	-				
環境 関連 性	-			事業の 捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	達成		事業の 進捗状況	-	改善目標 進捗状		-	拠					
ISO 14001	- -			有効性中	中∶適切な	成果が得られて	เงอ		有効性	± -									
環境 関連	H29 環境 関連 -	評価	効率性中	中∶適切な	費用対効果が得	导られている	評価	効率性	<u> </u>				H30年度 の方向性		- 理由	-			
	性			総合評価B	3∶成果・費/	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	į	総合評	価 -									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画·施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	22	高齢者福祉計画の策定に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る *ヌ	総事業費	264千円	4,036千円	3,982千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,142千円	10,989千円	10,989千円	
全体	総事業コスト	11,406千円	15,025千円	14,971千円	

事 務事業	套 0°	1 つ〈ば市高齢者福祉計画事業	指标	票名 会語	議の開催回数	Ż				指標種別	活動結果指	標						
711177					H26年度	H27年度	H28年度	H2	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	 高齢者福祉排	推進会議の開係	崔回数	
戦略プラ	シ -		目相	漂値	6回	2回	2回	(6回	2回	2回	6回						
	-		実	:績	6回	2回	3回											
総合戦闘	略 -					H28年度				H2	9年度	-	 そ(の他の指標	-			
	-		改善目	第6期の かし,平原	高齢者福祉	推進会議で委員 開催予定の高齢	から出た意見を活 者福祉推進会議ま	改善目	目 ┃る。その後,パブリックコメントで出た意見をもとに,平成 ┃-									
/FI DII ÷1.7	,,	: 1 短处社员 人维伊伦电光社员	目標	「ピレアン	グートの調査	対象者や項目の)兄且 しを行つ。	標	30年3月	F3月までに高齢者福祉計画を策定する。			1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
1回かりまてし	当 	:人福祉計画 , 介護保険事業計画 							5月 第4回高齢者福祉推進会議開催 6月 第5回高齢者福祉推進会議開催			事	事業費(A)	264千円	4,036千円	3,982千円	0千円	
根拠法令	等老	:人福祉法,介護保険法	事業	6月 広 7月 高 9月 第	報紙へ委員 齢者福祉推 1回高齢者	一般公募の掲載 進会議委員の決 冨祉推進会議開	定 崔	事業	6月 7月 8月 第	第5回高齢者福祉 第6回高齢者福祉 第7回高齢者福祉	└推進会議開催 └推進会議開催 └推進会議開催			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
			計画	11月 第	2回高齢者	温祉推進会議開	催	計画	9月 第	角8回高齢者福祉 パブリックコメント	上推進会議開催			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	類 C	義務的事業				量祉推進会議開 日本推進会議開	崔		12月 第	第9回高齢者福祉 高齢者福祉計画5	止推進会議開催		内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体統	制一	部委託				推進会議設置要			-					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
_	Total Control of the			6月 7月6日	28-30つ(に	へ委員一般公募 ば市高齢者福祉	の掲載 計画(第7期)	上						一般財源	264千円	4,036千円	3,982千円	0千円
事業		活動	7月11日	策定支援業務委託の契約 11日 委員の選定 14日 一般の意味質は思議は				上		J	人件費(B)	11,142千円	10,989千円	10,989千円				
	るため		実績	7月14日 8月22日	322日 第1回高齢者福祉推進会議が台風により延 326日 第1回高齢者福祉推進会議開催			期動	動				Ī	従事 副合	1.50人	1.50人	1.50人	
0 1				11月4日				績					内訳	時間外 動務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
				12月										臨時職員等	有	有	無	
=			成	事業計画	通りに事業	を進めることがで	きた。	上半期						事業コスト (A + B)	11,406千円	15,025千円	14,971千円	
事業の概要	人福祉	上及び介護保険の一体的な展開が図られ つ〈ば市高齢者福祉計画」を策定する。	成果	第1回目 対応し, 9	の会議が台 <i>)</i> 9月26日に第	虱により延期とな 11回目の会議を	きた。 こったが,速やかに 開催した。	期成果					H 30)				
	-	- -			向けて , アン 討する必要 ;		を向上させるべく,	課題	-				年度当初積算根	-				
環境 関連	H28 環境 関連 - 性		 事業の 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成	ì	<u> </u> 事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	<u>ì</u>					
ISO 14001	-	<u> </u> -		有効性	中:適切な	成果が得られて	113		有効性			•						
H29 環境		•	評価	効率性	中:適切な	費用対効果が得		評	効率性	生 -				30年度 方向性	理由 -			
	関連 - 性 性	,	総合評価	B∶成果·費	用対効果の向上に	三努めつつ継続実施	- ````	総合評	4価 -				3, 3,12					

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画·施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
る経費全体	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
全体	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

		11h t-	北京美型サービュあ供書祭送の声	┃ ┃ 指標 [:]	ター地域家美刑人	在土 ↓ カロ ウレ セ症≐几	の字号数			指標種別					1			
事務事業	名 01	業	或密着型サービス整備費等補助事 -	1日1示	日 地域出有空川。 H26年度	雙老人福祉施設 ────────────────────────────────────	のた貝奴 H28年度	H20)年度	H30年度	成果指標 H31年度	H32年度	岩	標の概要	 高齢者福祉	計画にて計画	されている市内	勺地域密着
戦略プラ	ン	1	1 高齢者支援体制の整備	目標的		116人	116人		/一及 5人	- 1100平皮	- HST中皮 -	- H02十及]]=	11示り71処女	型介護老人? 	福祉施設の定	員数	
	-	-		実績	87人	116人	116人											
総合戦略	当 -	-			•	H28年度			I	H2	9年度		その	の他の指標	_			
	-	-		改善言	十画に基づき平成29 事の進捗管理を行う 施設整備を支援する	年度から施設をとともに,事業者	開設できるよう,工 に補助金を交付し	改善		の防犯対策を強		設(事業所)に						
個別計画	<u> </u>	/I#i	市高齢者福祉計画	目が	色設整備を支援する	0		目標	PD36717	^メ ラ等を設置する	0		III	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		\ I& I	의 마파마 다 7회타									事	禁費(A)	62,273千円	151,719千円	12,718千円	0千円	
根拠法令	等 -			事 事 4 業 <i>t:</i>	月 地域密着型特別 より,補助金交付要」	別養護老人ホーク 頃を策定	ムの整備補助にあ	事業	3月 防	犯対策強化事業	補助金交付要耳	頁策定		国庫支出金	469千円	9,880千円	12,718千円	0千円
10,000	,,			計 3 国 国	月 事業者に対し施	設整備費及び開	引設準備経費を補	計画	業 3月 防犯対策強化事業補助金交付要項策定 業 4月 申請受付 計 5月 交付決定 事業完了した事業者から順次交					県支出金	61,700千円	141,839千円	0千円	0千円
事業分類	事業分類E 補助金・負担金事業1.行体制職員のみ				-								内 訳 _	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	執行体制 職員のみ													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事		4	月28日 施設整備補助金交付要項策定			上坐					一般財源	104千円	0千円	0千円	0千円			
業のは	ず市高	高齢者	皆福祉計画に基づき介護施設を整 534のロトを図るため	活 5 動 1	4月28日 施設整備補助金交付要項策定 5月~3月 工事進捗状況確認定例会を開催 10月 介護ロボット導入支援補助事業開始 3月 防犯対策強化事業を新たに実施 H29年4月 施設整備費及び開設準備経費を補助			■ 上半期活	-				<u>ا</u>	、件費(B)	11,142千円	10,989千円	10,989千円	
の 備し m	,同圈	符合作	冨祉の向上を図るため 。	実	月 防犯対策強化事業を新たに実施 29年4月 施設整備費及び開設準備経費を補助		施 挿経費を補助	動実績					正明		1.50人	. 1.50人	1.50人	
								順					訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
								-						臨時職員等	有	有	有	
事一	ヸ゙゙゙゙゙゙゙゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	主版。	皆福祉計画の推進にあたり, 公募	成瓦	O〈ば市高齢者福祉 以した。			上 半 期	_					■業コスト (A + B) ■	73,415千円	162,708千円	23,707千円	
	る事業	業者追	ョ価値計画の推進にめたり,公券 選定を行う。また,地域密着型サー を促進するため,県の施設整備補		科学技術振興課と連 ,,11事業所に介護!			成果					H 30					
概 助金	を活	用す	ა .										年度					
				課際	方犯対策強化事業を ***	次年度に繰り越	して実施する必要						年度当初	-				
	-	-	-	選 九 	がある。			題					積算					
H28 環境 関連	-				業の 達成 5状況	改善目標 <i>0</i> 進捗状況			 事業の 	-	改善目標の 進捗状況	-	根拠					
ISO 14001	01			が向上(高水準を			有効性	<u> </u>	X=127/1/1/1	<u> </u>								
環境		評価	評 対象性 低 費用対効果が低下(低水準を維持)して 評		効率性	<u> </u>			H3(0年度 -	理由 -							
		A.	総合評価 C:成果を約	推持し費用対効果で は持し費用対効果で	を向上させる必要有り		総合評	価 -										

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画·施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
る経費全休	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
全休	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

事務事業名	02 施	設指定及び指導監査業務	指標	名 指導検査及び盟	监查事業所数				指標種別	活動結果指標	<u></u> 善 示						
7.77 X I	02 118			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	指導検査及び	が監査を行う事	業所数	
戦略プラン			目標	40事業所	40事業所	40事業所		-	-	-	-						
			実績	責 47事業所	60事業所	65事業所											
総合戦略					H28年度				H2	9年度		その	つ他の指標	-			
				指導監査プロジェクト ジェールを決定し記録	チームにおいて	, 年間の検査スケ				点から次回H29.							
伊川兰丽	⊃/I #		目標	ジュールを決定し計画	当的に快宜を付?) ,	目 に第1 標		に第1号及び2号被保険者の市民公募を実施する。				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
10万計四	J\IA	市高齢者福祉計画										事	業費(A)	198千円	1,872千円	2,295千円	0千円
根拠法令等	· 介罐但	2.17余六土	事業計	4月,9月,3月 地域8 し,地域密着型サーb	密着型サービスi ごス施設(事業所	運営委員会を開催 ・)の新規指定1	事	H29年3,	月~4月 ホーム	ページにて委員	公募	[3	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
低拠広マ寺	기 夜 7 	NX/A	計量	牛,更新指定6件を行 1月~3月 40件の介	すう。		事業計画	5月 , 8月 4月 ~ 3月	3月 委員会 月 指導検査実施	ページにて委員 :開催 施			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	C 義	務的事業		施する。 										0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員の)み										7	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
串							上						一般財源	198千円	1,872千円	2,295千円	0千円
尹 業 居宅介 の ス事業	 護サービス事業所及び地域密着型サービ 所の指定及び指導監督を行い,適正な介		動	4月28日,9月20日,3月22日 地域密着型サービス運営 委員会開催			夬力	L				人	.件費(B)	14,856千円	10,989千円	10,989千円	
日 護保附 的	食サーと	になり指導監督を刊れ、過止なか によの充実を図るため。 	実 4	4月~3月 介護サービス事業所65件の指導検査を実施 虐待の疑いのある施設に対し定期状況確認実施			他 制 実 編 					正贈	後事 割合	2.00人	1.50人	1.50人	
												内買	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
							-	-				E	临時職員等	有	有	有	
車			成	地域密着型サービス サービスの継続・確係	事業所を新規1位 日本記載 1位 また 1位 は 1位	件,更新6件指定し	上						業コスト (A+B)	15,054千円	12,861千円	13,284千円	
素 審査及の おまま	とび現り	E申請による指定を行う際,書類の │ 地確認等を実施したうえで指定する。 Nては社会福祉課,介護保険課と共 │	果 ♬	虐待の疑いのある施 受講を指導し現在改	設には地域包括	支援課による研修	期成果	-				H 30					
機関を受ける 関係	期的な	監査を行う。										年 度					
			課	地域密着型サービス で公募を行っていない	運営委員会委員 \ため市民公募?	について,これまを行い公平性を確	課題					年度当初	-				
1120	- -	-	題(保する必要がある。			選					積算根					
H28 環境 関連 및 性				「業の 造成 造状況	改善目標の 進捗状況	達成		 事業の 単捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001	- -				:成果が得られて	้เาอ		有効性	E -								
H29 環境 関連			対象性 中:適切な費用対効果が得られている 神 効率性 -	<u> </u>)年度 5向性	理由 -								
性	┃関連 ┃-	4	総合評価 B:成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	価 -									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
る経費全体	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
全体	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

事務事業名 03 高齢者健康遊具事業	指標名			1 1100年度 1	1100	左	指標種別	- - -	1120年度	+6+#	る 加 亜				
戦略プラン	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	ПΖ	9年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	1日代示	の概要	-			
	実績	-	-	-		-									
総合戦略			H28年度			I	H2	9年度	-	そのイ	也の指標	-			
	改 善 継線 目 せる	売して健康遊具の	安全確保を図り	, 利用率を向上さ	改善	 継続して せる。	継続して健康遊具の安全確保を図り,利用率を向上さ								
個別計画 -	目せる	0,			目標				事	業実施 1スト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
										事業	養 (A)	220千円	326千円	464千円	0千円
根拠法令等 -	事	占按重数字口上	・2母事遊見主は	b 7 か低の占枠を守	事	8月 点	検事業者による	健康遊具市内7	か所の点検を実	国	軍支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
低拠なマサー	業 8月 計 施 画	从快争来白によ	。 多健康避共用的	内7か所の点検を第	事業計画	施	施 4月~3月 健康増進課による出前教室を実施				支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類 B 任意的事業(小規模)										内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制 一部委託										そ(の他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
重					上					_	般財源	220千円	326千円	464千円	0千円
# 自由に出入りできる公園に健康遊具を設置する の ことで,運動習慣を身につけてもらい,高齢者の	∥動 の点	8月9日,10日 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施 8月20日 贈員乃び健康教会指道者を対象とした。イン				l.				人件	費 (B)	75千円	733千円	733千円	
目 外出支援と健康維持を図る。 的	実 8月2	8月29日 職員及び健康教室指導者を対象とした,インストラクターによる健康遊具の使用方法の講習会を実施			上半期活動実績					正 職-	従事 割合	0.01人	0.10人	0.10人	
									別員	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
					╁						時職員等 *- -	無	無	無	
事しの党の国際はは実動の国際も進の国際に関い	成 健身	東遊具の安全を確	:保し,市民の健/	康増進に寄与し	上半期	l.					Ěコスト (+B)	295千円	1,059千円	1,197千円	
事 二の宮公園, 茎崎運動公園, 大池公園, 梅園公業園, 谷田部多目的広場, 花畑近隣公園, 川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具	果た。				成果					Н					
概										30 年 度					
		長遊具の経年劣化	/に ト ス 不目合か	(タロ	課					度当初	-				
	題	を 歴典の 紅牛 力に	いての小分口ル	· 5 6 1°	題	ľ				積算根					
H28 環境 関連 <u></u>	事業	の 達成	改善目標 <i>の</i>	カー 達成		事業の		改善目標の	Ι.	根拠					
ISO 14001	進捗地	八儿	進捗状況 は果が得られて	,	道	き おおり とうしょう ままい おまま おまま まま おまま もっぱい もっぱい もっぱい しゅう はい	± -	進捗状況	<u> </u>						
H29 環境	<u></u>	有効性 中:適切な成果が得られている 評		効率性				H30年	F度	· 理由 -					
関連	""		用対効果の向上に努めつつ継続実施		┨ ``` ┡	総合評				_ の方向性					
						•									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
80	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	40,237千円	41,190千円	45,922千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
全体	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

事務	事業名	01 在3	宅高齢者紙おむつ購入費助成事業	指標名	宮 助成券	交付者数					指標種別	活動結果指	西			<u></u>	/ 		-1: 24 4 TD: 24
						6年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	扎	旨標の概要	甲請を受け, にて交付する		たした人へ助	成 秀を郵送
戦略	プラン	- -		目標個	直 1,8	大000人	2,500人	2,650人	2,8	00人	-	-	-						
		- -		実績	2,1	39人	2,250人	2,357人											
総合	戦略	- -		1		Н	128年度		H29年度					ーそ	の他の指標	ļ.			
	=			晋一	に受け取			ため,家族等,確 €付できるようにす	改善目標	実に受け	券を紛失してしまうケースもあるため,家族等,確 受け取りができる方へ助成券を送付できるようにす								
/E DI	ᄔ			目標る	0				標	් වී.					事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
10万	J計画	-		して	要介護1以	以上の在宅	高齢者を対象	ている,65歳以上 に,年1回,紙おむ		日常生活において紙おむつを使用している,65歳以上 で要介護1以上の在宅高齢者を対象に,年1回,紙おむ			Inili,	事業費(A)	40,079千円	41,157千円	45,716千円	0千円	
根拠	法令等	つくば	市在宅要介護高齢者等紙おむつ購	事 杉	マ , 又は1,00	00円×48村	攻(要介護4・5訁	1,000円券×24 忍定者で市民税非 よって給付枚数	▮事 枚,又	枚,又は	D購入費助成券を発行する。助成額:1,000円券×24 枚,又は1,000円×48枚(要介護4·5認定者で市民税非 果税世帯に属する場合)。申請時期によって給付枚数				国庫支出金	15,630千円	16,051千円	17,830千円	0千円
الكايك	4 ()	人質即	D成規則 		少なくなる		1)0 T-HH-0301C	XXXIIIIMO C	計画	は少なく	なる。) CMHTJ1XXX		県支出金	7,815千円	8,025千円	8,915千円	0千円
事業	分類	A 任語	意的事業	··· 博 協	請受付:№ 品力事業所	受付:随時					業所受付∶随時			内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	職員の)み	(1	1月 現年月	<u> </u>	美所へ協力申出	書送付)		(1月	見年度協力事業 月	所へ協力申出書	<u>送付)</u>	$\ \ $	その他特財	7,815千円	8,025千円	8,915千円	0千円
=	事級数数		助	成券交付	.券交付者数∶2357人								一般財源	8,819千円	9,056千円	10,056千円	0千円		
*	紙おむ 入費用	つを必要としている高齢者に対し,その購 の一部を助成することにより,当該高齢者		動 55%				者を対象に , 紙お	上半期活					,	人件費(B)	1,486千円	1,466千円	1,466千円	
の目的	及び要 図るた	介護者	↑護者を抱える家族の経済的負担軽減を┃	差	むつ購入費助成券を交付した。 1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付					-					従事 正 割合	0.20人	0.20人	0.20人	
н				.,					実績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														$\ \ \ $	臨時職員等	有	有	有	
=	日常生	活にお	いて紙おむつを使用している65歳	成細	チおむつを /	込要とする	高齢者及びその	D家族の経済的負	上半期					1	事業コスト (A+B)	41,565千円	42,623千円	47,182千円	
業の	回紙お 1,000円	むつ購 券×2	§1以上の在宅高齢者に対し,年間1	果担	望を軽減でも	きた。			期成果	-				H 30					
要	帯に属する場合は同券を48枚を限度に交付する。なお,申請時期により,給付枚数が少なくなる。ー				京介護の方 - ースもある		あるため , 助成え	券を紛失してしまう	課題					年度当初積算期	<u>[</u>				
	大気汚染の防止 H29 本人による助成券受取が難し〈,家族等へ 環境 の送付が必要な場合も多いため,送付先を		業の 状況	達成	し 改善目標の 進捗状況	達成		 事業の <u> </u> 	-	改善目標の 進捗状況	-	根拠	<u> </u>						
ISO 14001			有効性	┝∶適切な♬	成果が得られて	いる		有効性	<u> </u>										
		はる助成券受取が難し⟨,家族等へ が必要な場合も多いため,送付先を	評価	効率性	中∶適切な፤	費用対効果が得	が得られている 評 効率性		ŧ -				30年度 方向性	理由 -					
	一性 確認し,再配達による余計な自動車の運用				総合評価 B	∶成果·費戶	用対効果の向上に	2努めつつ継続実施		総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

I	会計	款	項	目	事業	予算事業名
	08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		40,237千円	41,190千円		
る経費全体	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
全休	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

事務事	業名	02 は	ハかい高齢者家族支援サービス事	指標	票名 利用	書数					指標種別	成果指標							
3- 333 3	-	業				H26年度	H27年度	H28年度	H2	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	はいかい行動 に対し貸与し		高齢者を介護し	ている家族
戦略こ	プラン	- -		目標	票値	5名	9名	10名	1	0名	-	-	-						
				実	績	8名	2名	2名											
総合	戦略						H28年度				H2	29年度] _{そ(}	の他の指標	_			
	-					生の高い機能 と含めて検討		こついて情報収集	改善目	事業とと	ともに事業周知を	・ ・ ・行う。 システム等につい							
個別	計画	_		標	,				標	導入を含めて検討する。					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
														事	事業費(A)	0千円	8千円	164千円	0千円
根拠法	5令等	はいか 施要綱	い高齢者家族支援サ-ビス事業実	事業	るご家族			齢者を介護してい ,はいかい高齢者	業	はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護している。 るご家族に位置情報端末機を貸出し,はいかい高齢者の保護を支援する。			者を介護してい はいかい高齢者		国庫支出金	0千円	3千円	63千円	
	4	心安和		計画	 申請受付	・『冶中去			計画	 申請受 [/]	付·『洛哇				県支出金	0千円	1千円	31千円	0千円
事業	分類	A 任i	意的事業] 者負担額決	定			6月 利用者負担額決定					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	一部委	託											┨╢	その他特財	0千円	1千円	31千円	0千円
事Ⅱ	事はいか		い行動の見られる65歳以上の認知症の高	:	利用者数	利用者数:2名(3月末時点) はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護してい									一般財源	0千円	3千円	39千円	0千円
業の	設者を	い行動の見られる65歳以上の認知症の高 介護している家族に対し,位置情報端末機 与及び位置情報の提供を行い,はいかい	店 動	1+1 1 +11 1									ノ	人件費(B)	743千円	733千円	733千円		
	引 較者	の保護	位量情報の提供を行い。はいかい 髪を支援することにより、介護を行う家 経滅を図るため。	実し	はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護しているご家族に位置情報端末機を貸出し,はいかい高齢者の保護を支援した。					-					後事 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	0.10人	0.10人	0.10人	
															時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										-				1	臨時職員等	無	無	無	
事	はいか	い行動	の見られる方に,位置情報端末機を	成	はいかい	高齢者を在	宅で介護する家	族の精神的な不 安	上半期						事業コスト (A + B)	743千円	741千円	897千円	
業の概要	秀帝し 合に,位 呆護で ミけ 市	くいた 置情幸 きるよっ	の見られる方に,位置情報端末機をだき,万が一,はいかいしてしまった場段等を特定し知らせることで,家族がう支援していく。家族等から申請を 条件を確認して決定後機器の貸与	果	の軽減か	できた。			成果					H 30					
	E実施 H28				利用者数 い〈必要〉		め,事業の周知	を継続的に行って	課題	-				年度当初積算根	<u>.</u>				
	環境 関連 上				上 事業の :捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成	ì	_ 事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	2				
ISO 14001				有効性	中:適切な	成果が得られて	เาอ		有効性	± -									
	H29 環境 関連 -				効率性	中:適切な	費用対効果が得	られている	評 効率性 -		± -				60年度 方向性	理由 -			
	性				総合評価	B∶成果·費	用対効果の向上は	:努めつつ継続実施		総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	40,237千円	41,190千円	45,922千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
全体	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

				14.17	- 4	= ± va					T / I									
事務	事業名	03 家	族介護者交流事業	指標		加者数 	H27年度	山20年帝	ЦЭС	9年度	指標種別	- H31年度	┃ □20年度	┨.	指標の概要	 日帰り旅行	への参加者数	(~H26年度)		
戦略	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			▋目標		H26年度 30名	30名	H28年度 30名		9 <u>年長</u> 0名	H30年度 30名	30名	H32年度 30名	_ 1	旧际の城安	· 交流会への参加者数(平成27年度~)				
				実		33名	26名	6名						+						
411.2	◇₩₽₩Φ						 H28年度	<u> </u>	1		H2	29年度] _	の仏の比価					
総官	合戦略	- -		改					改					7	の他の指標	-				
		- -	- -	┨目目	多〈の方 討する。	に参加してい	1ただけるような3	交流会の内容を検	目	廃止を記	上を含め,今後の事業の在り方を検討する。			市兴中华		1	ı			
個月	別計画	_		標					標						事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
III	лип													Ę	事業費(A)	158千F	25千円	42千円	0千円	
+121 +60	:	人举 亿	□ <i>[</i> 4 : +	事	1月 これ	ほでは心身	のリフレッシュを	重視した日帰り旅	事	平成29	平成29年度から,社会福祉協議会への委託ではなく,				国庫支出金	· 61千F	9千円	16千円	0千円	
低拠	法令等	기`	★ 突 <i>i</i> 左	事業計画	行や公演 置いた講	くく かいまた は	きたが,介護者間	重視した日帰り旅 引の交流に重きを	計画	高齢福祉課が直接開催することになる。 心身のリフレッシュを目的とした講座を行うとともに,介 護者の情報交換の場を提供する。				県支出金	30 千 F	4千円	8千円	0千円		
事業	業分類	A 任i	意的事業							IR GOTHTKAIXON CIRCINO O				内訳	地方債	0 ∓F	0千円	0千円	0千円	
執行	亍体制	全て委	話							-				+	その他特財	30千F	4千円	8千円	0千円	
+		皆を一時的に介護から解放し,身体的・精神 旦の軽減を図るため。													一般財源	37千F	8千円	10千円	0千円	
争業の	 介護者			活力動	1月 介記 招き,ア	月 介護者を対象にした交流会(臨床心理士の先生を 引き,アロマテラピーの講座と昼食会)を開催			半期活		_				人件費(B)	743千F	733千円	733千円		
の目的	的負担			実績	参加者数:6名(男性2名·女性4名)				加 · 動 実	-					近事 正割合	0.10	0.10人	0.10人		
נם									績					内訳	職 時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
										-					臨時職員等		無 無	無		
					介護者を	一時的に介	護から解放し,E	日頃の介護疲れを	上半					1	事業コスト (A+B)	901千F	758千円	775千円		
事業	口偏的	旅行や	o,施設見学等を活用した介護者相	成果	癒し,心. ることが	身のリフレッ? できた。	シュや , 介護者同	頃の介護疲れを 士の交流を深め	成	-				l				<u> </u>		
の概要	互の交	流会を	民開催する。						果					30 50	0					
要														年度当	= E					
						が少ないため けする必要が		後の事業の在り	課題					初] -					
		- -	-		刀在很的	1 A 20 70. 22 11.0	<i>w</i> 5,		起					月 日 日 日 日 日	Ĭ					
	H28 環境 関連 _				業の	達成	改善目標の	達成		事業の		改善目標の		┪板	<u>R</u>					
ISO 14001	性			進:	<u>捗状況</u> 有効性		進捗状況 進捗状況		ı.	生捗状況 有効性	<u> </u>	進捗状況								
1-1001	H29		評	評し 対変性 中でき切り書口が知りが得られている			評	効率性				НЗ	30年度	· 理由 -						
	関連							- 努めつつ継続実施	価 _^		_ 価 -			の方向性						

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	01	02	12	高齢者いきいき健康アップ事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	4,624千円	6,349千円		
っる経費全体	総人件費	2,972千円	3,663千円	3,663千円	
全	総事業コスト	7,596千円	10,012千円	10,344千円	

市 双市 业	2 04	ICT		指標	票名 参加者数					指標種別	活動結果指	漂						
尹孙尹未了	9 01	1011	可取行いでいて 医尿アップ 争未		H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	年度末現在	の参加人数を	指標とする。	
戦略プラン	/	1	1 高齢者支援体制の整備	目標	票値 335名	400名	500名	50	00名	500名	500名	500名						
	-	-		実	績 323名	354名	363名											
総合戦略	-	-				H28年度			T	H2	29年度		その	他の指標				
	-	-		改善目	·新規参加者を100名 ·長期的に継続でき		Z	改 善 目	活動量計の不具合やタブレットの通信環境の不安定さがあるため,委託業者と連携して対応していく。									
個別計画		龄老	温补計画	標		ひ城坑 コミラビラ	0 ,	標					業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
四沙田區		M4.10.1	(田) 正日 (四)		委託業者が変更とな	い,新システム[N-systm」を活用						事	業費(A)	4,624千円	6,349千円	6,681千円	0千円
根拗注今等	<u>≠</u> 2710	CT高	高齢者いきいき健康アップ事業実施	事業	する。参加者の歩数と中強度の身体活動(速歩き)時間 を記録し,その結果を2か月に一度参加者へ送付する。				4月 新 6月 新	規参加者募集 担参加者事業部	紀明会及び体力源	訓史	囯	庫支出金	1,156千円	1,587千円	1,645千円	0千円
	要項				4月 新規参加者募第 5月 既存参加者を第	集 対象とした新シス [・]	テム説明会	業計画	2月 全	参加者を対象と	1550 (1577) した体力測定の 月·2月 月間の道	実施		県支出金	578千円	793千円	822千円	0千円
事業分類	A 任意的事業				月 新規参加者事業説明会及び体力測定 月 全参加者を対象とした体力測定を実施				,,,,,,,,	, 0, 10, 12,	3 =/3 /31=300		内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	一曾	部委	託		4月 新規参加者募								7	その他特財	1,872千円	2,571千円	2,764千円	0千円
┃	事「活動量計を身に		・身につけて,日常自分が歩いている		5月 既存参加者(H 対象とした新シ 6月 新システム稼働	ステム説明会	事業参加開始)を	上半						一般財源	1,018千円	1,398千円	1,450千円	0千円
業 量や 業 身に	エネル つけて	Cネルギーの消費量を確認し,運動習慣を Oけてもらうため。		活動	新規参加者事	新規参加者事業説明会及び体力測定 引 新規参加者追加募集							人	件費(B)	2,972千円	3,663千円	3,663千円	
目骨の	変化も	も検討	限定になることを遅らせることと医療証し,医療費が削減できているとこっ するため。	人生	10月 新規参加者事	0月 新規参加者事業説明会及び体力測定 月·10月·12月·2月 歩数等の月間結果を参加者へ							正職		0.40人	0.50人	0.50人	
24	C& H	ופטכ	. 9 るため。		付 2月 H25~H28全参		実					内員	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
					(194名参加)			_						品時職員等	有	有	有	
事。		-		DX.	·76名の新規参加申 ·歩数等の運動結果	I込を得られた。	まることで 糸加老	 上 半 期						業コスト A + B)	7,596千円	10,012千円	10,344千円	
■ 悪 ラッコの の 一 ラッコ	Fング	`し,そ	日常的に健康データ(歩数等)をト そのデータを健康管理システムで 「一タの「見える化」に取り組み,行	果	の運動に対する意識	戦を向上させること	とができた。	成果					Н					
┃ 概 ┃ 暫変	容を保	足進す	する。						-				30 年					
				課	·活動量計の不具合があるため,委託業								年度当初	-				
	_	I -		題	る。 ·退会者も多いため 要である。	, 継続して参加で	きる環境づくりが必	四百	-				積算					
H28 環境 関連		1	1		を表の	│ 改善目標 <i>0</i>	D _{连代}		事業の		改善目標の		根拠					
性 ISO	_	T			<u> </u>	進捗状況	连风		生捗状況 有効性	<u> </u>	進捗状況							
14001 H29 環境	H29	評価	有効性 中:適切な成果が得られている 効率性 中:適切な費用対効果が得られている	効率性					年度	- 理由 -								
関連性	関連			価 総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				_ '''				の方	向性					

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画·施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	25	介護人材確保に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	0千円	600千円	7,300千円	0千円
る経費全体	総人件費	0千円	3,663千円	3,663千円	
全体	総事業コスト	0千円	4,263千円	10,963千円	

事務事	事業名	01 つく	ば市介護人材確保事業	指標	票名 補助金の)交付人	数				指標種別	活動結果指	標						
3.373.5	J-7K II		(100.15.14 HX) (13.14 HV.3.2)		H26年	F度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	補助金を交付	けした総人数		
戦略	プラン	- -		目標 	票値 -		-	160人		-	-	-	-						
		- -		実	績 -		-	13人											
総合	·戦略					ŀ	H28年度				Н	29年度		そ0	の他の指標	-			
	_			改善目	平成28年度当 を、市ホームペ	☑成28年度当初に,本給付金について,市民への周知 :,市ホームページや広報紙を通じて十分に行う。			改善目	スタート	スタートアップで70名,キャリアアップで90名の申請がさ れるよう,周知方法や事業内容について見直しを行う。								
個別			市高齢者福祉計画	標			75 12/10/02/02/03	1 73 12 13 70	標					=	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧小小		つくばi	市まち·ひと·しごと創生総合戦略 							l			 n	事	葉費(A)	0千円	600千円	7,300千円	0千円
根拠沒	去令等	-		事業計	4月 介護人材 4月~5月 市間	確保事民への原	業における給付 周知 	金公布規則施行	事業	4月~1月		ージへの情報掲 .のチラシを配布 [.] る。			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
				計画	3月 給付金抽	調音気 選,交付	:17] 付対象者決定,i	請求書受取	計画	5月~6月	引 市内で介護	事業所を運営す 事業に関するアン	る法人に		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	E 補I	力金·負担金事業	ī	H29年3月~4月	月 給付	ໄ金支払				実施する。	F* (C F) (0))	7 12	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	補助金	(間接)							-				-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車	事っくば市業の高齢者	- 京松老海池弘丽に甘べる 京松火変ル		5月30日 ホー 6月 広報	0日 ホームページに給付金に関する情報を掲載 広報誌に給付金についての情報を掲載								一般財源	0千円	600千円	7,300千円	0千円		
業		市高齢者福祉計画に基づき,高齢化率及 者数の増加に対し,市内介護従業者の確 着を促進し,介護サービスの安定した供給		活動	6月24日 つ(1	月24日 つくば市介護職員就労スタートアップ								人	、件費(B)	-	3,663千円	3,663千円	
の目的	保·定着 及びサ	自奴の追加に対り, 市内介護従業官の権 賃を促進し,介護サービスの安定した供給 ・ービスレベルの向上を図るため。	実	フォロー給付金及びつ〈ば市介護職員 キャリアアップ費用給付金交付規則を施行 2月1日~2月28日 給付金申請の受付									従事 割合	0.00人	0.50人	0.50人			
п					3月7日 給付金の決定通知書を送付			実績					内侧侧	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
										-				-	臨時職員等	-	有	無	
	つ〈la 事業	ば市介語	護職員就労スタートアップフォロー	成	スタートアップ	が12件	, キャリアアップ	が1件の,計13名 定した供給及び	上半期						事業コスト (A + B)	0千円	4,263千円	10,963千円	
業に	介護業 規に就	労する	方に対し、一時金を助成する。		に給付金を交付サービスレベル	付し,介語 レの向」	護サーヒスの安 こを図ることがで	定した供給及び きた。	期 成果	-				H 30					
	の つくば市介護職員キャリアアップ費用助成事: 市内介護事業所に6ヶ月以上就労している方で介護職員初任者研修を修了した者に対し,研修費用の一部助成を行う。			課	給付金の申請 数を増やすたと	者が想めの施録	定より非常に少 策を検討する必!	なかったため , 人 要がある。	課題					年度当初積算根	-				
	環境関連生				事業の 歩状況 ラ	未達成	改善目標の 進捗状況	未達成		_ 事業の <u>進捗状況</u>	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001		· -			有効性 中:	適切な	成果が得られて	いる		有効性	: -								
	H29 環境 関連 -	評価	評 効率性 低:費用対効果が低下(低水準を維持)して 評 対		効率性	-				0年度 - 5向性	理由 -								
	性性			総合評価 D:	費用対象	効果を向上させる	る必要有り		総合評価	西 -									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	桜老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	11	桜老人福祉センター運営に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	27,843千円	17,251千円	19,267千円	0千円
る経費全体	総人件費	7,428千円	7,326千円	7,326千円	
全休	総事業コスト	35,271千円	24,577千円	26,593千円	

事務事	業 名	01 桜き	老人福祉センター管理運営事業	指	標名 施	設利用者数					指標種別	活動結果指	漂						
3-333	- * 1					H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	入浴·娯楽設 用入館数	は備等の福祉 は	ナービス事業に	こ対しての利
戦略に	プラン	- -	- -	目 ⁷ 	標値	20,000名	20,000名	23,000名	23,0	000名	23,000名	23,000名	23,000名			7137 (1112)			
		- -		実	E 績	23,000名	24,519名	24,410名											
総合	戦略						H28年度			1	H2	29年度] ~	の他の指標	<u> </u> _			
		- -		改善目	施設内の 伐採する	改 設内の老朽箇所の点検及び修繕 , 施設内の立木を													
個別	計画	_		標				標		NEIXT 100 EVICE POINT A GROUP ET HE CLIP'S			Ę	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
ادرياا	нты												事	≨業費(A)	27,843千円	17,251千円	19,267千円	0千円	
根拠法	令等	老人福	冨祉法 , つ〈ば市老人福祉センタ-条	事業	施設整係 進·親睦	備を充実する ∵教養の向上	ことにより, 高齢 :等の達成度にタ	者同士の健康増 ろめる。	事業	浴室内タイルや混合栓の修繕等,浴室の整備を行う。 施設破損が生じると思われる立木について伐採する。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		<i>9</i> IJ		計画	浴室	のシャワーホ 枯れ木の伐打	ースの取替		計画					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	分類	施記	设等維持管理事業											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	執行体制 一部委託 													-	その他特財	971千円	850千円	782千円	0千円
=	事	者の健康増進,教養の向上やレクリエーショ							上半					一般財源	26,872千円	16,401千円	18,485千円	0千円	
単業	高齢者			活動	┃ 年4回の中庭の除草及び枯れ枝の撤去や立木の剪定を 行った。また浴室内のシャワーホースの取替と混合栓の									人	、件費(B)	7,428千円	7,326千円	7,326千円	
の目的	ン活動の	の場所	fを提供し,福祉の向上を図るため。	実績	行った。また浴室内のジャワーホースの取首と混合柱の 修繕を随時行った。 									II.	従事 割合	1.00人	1.00人	1.00人	
нэ														内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
					-									- 6	臨時職員等	有	有	有	
車				成	敷地内の	D環境整備を	·したり,浴室内の)修繕をすることに	上半期						事業コスト (A + B)	35,271千円	24,577千円	26,593千円	
の ク	けル等の	D支援	適正な施設管理及び整備·各種サー 後や高齢者の活動場所の提供 社 会主催事業への施設貸出	果	より来館	者が快適に	利用できた。		別成果	-				H 30					
	要 - - 一部達成		題			設に何らかの破 木の手入れが必	損が生じる恐れが 要と思われる。	課題	-				年度当初積算根:	-					
	環境 関連 _ 性				事業の き捗状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	未達成		事業の 基捗状況		改善目標の 進捗状況	-	拠					
ISO 14001	ISO - - -		有効性	中∶適切な	:成果が得られて	113		有効性	-										
3		評 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評 価 3			効率性	-			H30年度 の方向性		理由 -								
性性				総合評値	■ B∶成果·費	用対効果の向上に	上に努めつつ継続実施		総合評価	<u> </u>									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	谷田部老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	12	谷田部老人福祉センター運営に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	39,959千円	36,160千円	77,757千円	0千円
る経費全体	総人件費	26,052千円	18,368千円	18,368千円	
全体	総事業コスト	66,011千円	54,528千円	96,125千円	

事務	事業名	01 谷	田部老人福祉センター管理運営事	指相	標名 施	設利用者数					指標種別	活動結果指	票)	.+ D && - \-\	» — 	
3 - 373 -		業				H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	扎	指標の概要	│入浴·娯楽施 │用入館数	設等の福祉す	ナービス事業に	対しての利
戦略	プラン	- -		目相	標値	61,000名	65,000名	65,500名	66,0	000名	66,500名	67,000名	67,500名			7137 (1112)			
		- -		実	ミ績	65,099名	68,418名	66,607名											
総合	戦略						H28年度					9年度	_	ll そ	の他の指標	-			
	_					列用者の状況や推移をみて対応していくとともに,快適 は環境を維持する。				難な程を	会暖房設備の基幹となる吸収式冷温水機が修理が困 はな程老朽化している。 そのため、省エネ型の電気式エアコンをロビーから順次								
/E3 E1	I+I =			目標	な境境を	を維持する。			目標	導入し,	導入し、快適な環境を維持する。併せてキュービクル設備更新・増設工事を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
10万	計画	-								カラオ	トケ ナ会(6日)			Ę	事業費(A)	39,959千円	36,160千円	77,757千円	0千円
根拠氵	法令等	老人福	証法, つくば市老人福祉センタ-条	事業	 カラオ ヨガ孝	トナナ会(6月) 対室(5月から 1) 毎月第2月曜日))	事業	カラオケ大会(6月) ヨガ教室(5月から毎月第2月曜日) 浴槽水検査(毎日5回)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
12437-24	, v .g	1 <i>9</i> 1J		計画	浴槽	水検査(毎日4 配管薬品洗浄	(回)	,	業計画	地下	配管薬品洗浄(年 式オイルタンク改	7修工事			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	F 施i	设等維持管理事業		その化	他通年の施設	維持管理			エントランス空調設備改修・キュービクル更新工事 その他通年の施設維持管理			内訳	地方債	0千円	0千円	29,600千円	0千円	
執行	体制	一部委	託												その他特財	1,426千円	1,416千円	1,426千円	0千円
車									上半						一般財源	38,533千円	34,744千円	46,731千円	0千円
業	高齢者	 者の健康増進,教養の向上やレクリエーショ		動	ヨガ(月	カラオケ大会(年1回:参加者51人) ヨガ(月1回,定員60人:参加者述べ455人)			十期活動					_	人件費(B)	26,052千円	18,368千円	18,368千円	
の目的	ン活動の	の場所	を提供し,福祉の向上を図るため。	実績	飲料水検査(毎火曜日)及び浴槽水質検査(毎日5回) 受水槽検査(年1回)										近 選 割合	3.50人	2.50人	2.50人	
									実績					内訳	時間外 勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間	
															臨時職員等	無	有	有	
<u> </u>					カラオケ		教室は健康維持	寺·増進の支援に	上 半					1	事業コスト (A+B)	66,011千円	54,528千円	96,125千円	
事業の概	入浴施 (6月),	設及び ヨガ請	ドカラオケ設備の利用 , カラオケ大会 ≸座(5月から毎月1回実施)	果	快適なん	入浴施設の提立ったと考える		皆の清潔・健康維	期成果	-				H 30)				
要	[版]					して,快適な環境 1〈必要がある。	竟を提供するため ,	課題	-				年度当初積算根	<u>[</u>					
	環境		<u> </u> 事業の ! 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成	ĭ	_ 事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況		拠							
ISO 14001			有効性	生 中∶適切な		113		有効性	<u> - </u>										
		評価	効率性	生 中:適切な	中:適切な費用対効果が得られている 評			効率性	<u> </u>				30年度 方向性	理由 -					
性				総合評	価B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	価 -									

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	茎崎老人福祉センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	13	茎崎憩いの家管理に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	4,254千円	4,635千円	4,634千円	0千円
る経費全体	総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
全体	総事業コスト	8,711千円	9,031千円	9,030千円	

車級事	三	01 艾(崎憩いの家管理	温田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	指標	名 施記	設利用者数					指標種別	活動結果指	 標						
31 1773	未口	기오	呵芯ハツ水自荘	.连古尹未			H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	指標の概要	利用者数			
戦略:	プラン		- -		目標	傾			-	-	-									
			- -		実終	績	1,620名	1,328名	1,538名		-									
総合	戦略	- -				H28年度						H	29年度		そ(の他の指標	[-			
	_				改善	施設のを	設の老朽化に伴う施設・設備器等の損壊及び故障個 の修繕・補修			改善目	 前年度 <i> </i> につい7	から引き続き , 放 て , 検討する。	施設運営の在り方	设運営の在り方及び管理方針 関連						
個別	計画				標		2121212			標		VIC , 1X01 9 0.			1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
凹加															事	事業費(A)	4,254千円	4,635千円	4,634千円	0千円
根拗言	上公笠	7/1 1 7	市茎崎憩いの家	· 冬何	事。	実態に即	即した施設運	営の在り方検討。	及び事業の縮小・	事業	課題検討	討を図りつつ , 祠	高齢者を中心とす	る市民へ憩い		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
似)处/2	7 √ 1	ン (I&)	巾空响芯(10) 多	(الارا بدر الاراد الدراد ا	事業計画	廃止等を める。	態に即した施設運営の在り方検討及び事業の縮小・ 止等を含めた総合的な見直しを行い,管理方針を定 る。			事業計画	の場を提供するため,施設の貸出業務及び維持管理を 行う。			及び維持管理を		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	事業分類 F 施設等維持管理事業													内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	体制	一部委	託													その他特則	194千円	321千円	194千円	0千円
車										上半						一般財源	4,060千円	4,314千円	4,440千円	0千円
単	市民に	憩いの	いの場を提供し,福祉の増進に寄与す		活動	·利用人数·····1,538名			+期活					<u>ر</u>	(件費(B)	4,457千円	4,396千円	4,396千円		
の目的	るため。				実績	·開館日数·····311日			動実績							0.60ノ	0.60人	0.60人		
															別訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										_						臨時職員等	#	無	無	
事」	Ут≛⊓ (Чс	III ≯K ⋜Ķ	, 기미국(F)	7日 + 伐1 山1	成	利用者に	は例年多少の	増減があるが、	高齢者同士の憩し	上半期						事業コスト (A + B)	8,711千円	9,031千円	9,030千円	
$\begin{bmatrix} \mathbf{x} \\ 0 \end{bmatrix}$	運営を征	亍う。		3屋を貸し出し,管理 「安全で快適に利用	果(の場とな	いた。			成果					Н					
概要	できる」	う維持	詩管理業務を行	う。							-				4年度					
					課題	施設のを	と朽化により	,建物の損壊が活	激し〈 , 耐震改修も なび管理方針につ	課					年度当初	-				
		· -		<u> </u>	題	必安とな いて , 継	はため、他設 統的に検討が	が必要である。	ひ官理力軒にフ	題	-				積算					
	H28 環境 関連 <u></u>			•		業の	達成	│ 改善目標 <i>0</i>) 達成		事業の		改善目標の		根拠					
ISO 14001	性				進	<u>捗状況</u> 有効性		進捗状況 進捗状況		進	≛捗状況 ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	<u> </u>	進捗状況							
	01		評し 効変性 「中、海灯な悪田社効田が得られて」」。			単評 価	効率性					0年度 方向性	- 理由 -							
	関連 - 性			∥ "' ⊢	総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		┨ ¨`	総合評				(((그 I미'注							

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	茎崎老人福祉センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	14	茎崎老人福祉センタ-運営に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		15,719千円			
る経費全体	総人件費	17,855千円	10,284千円	10,284千円	
全休	総事業コスト	33,574千円	27,633千円	29,792千円	

事務事業名 01 茎崎老人福祉センタ-管理運営事業及 び茎崎農村高齢者交流センタ-管理		指標名							١.,	. I.W 107 TE								
 戦略プラン			目相	 標値	H26年度 21,000名	H27年度 18,000名	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	】 雅	≨標の概要	-			
半光岬ゴノフン				- / -		•	-		-						-			
	- -		美	績	17,763名	19,396名	22,434名	ı	-		00年度		1					
総合戦略	- -		⊐ <i>h</i> r	★左≐几:		H28年度		H29年度					その	の他の指標	-			
	- -		善	·故障	設備の適正管理 施設 : 設備の修繕計画又は実施			前年度から懸案事項となっている建物の部分的箇所及										
			目標	・老朽化設備等の修繕計画又は実施			目標	び設備等の修繕工事に必要な設計業務を行う。			-	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
個別計画				・施設利用者に対して部屋の貸出 ・施設,設備,機器等の維持管理 (当施設は,福祉支援センター共有施設のため,福祉を 援活動に係る指標設定がされた事業計画があるが,老					マ質量しの拡張を伝の放送			事	事業費(A)	15,719千円	17,349千円	19,508千円	0千円	
	つくげ	「市老人福祉センタ-条例 , つくば市	事					;∥事				I	国庫支出金	2 0千円	0千円	0千円	0千円	
根拠法令領	学芸崎農	農村高齢者交流センター条例	計	業であ	人福祉センターとしての施設利用は,専ら室等の貸出事 業であることから利用者増進を目的とした事業計画がな			業計	· 予算計上の施設各所の修繕 · 設備 , 機器等の突発的故障等に対応すべ〈緊急修繕 · 平成30年度実施予定工事の設計業務委託(3件)				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	F 施			い。なお,農村高齢者交流センター施設部分については,行政財産使用許可による社会福祉協議会等の高齢 者事業が展開され,施設の利活用が図られている。)			剣画	T MAGE T MAKE T ALL THE STATE OF THE STATE O			内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員の	Dみ		日尹未	₹ <i>Ŋ</i> ∵Æ∰С16,∭	匹政(グイリ)白州(ガ・)	직51(C(13),)						 	その他特別	310千円	382千円	309千円	0千円
				 老朽化	と朽化·経年劣化に伴う施設,設備,機器等の修繕									一般財源	15,409千円	16,967千円	19,199千円	0千円
事業高齢	者の技術	析及び知識を生かした生産活動や生	生	・電気陶芸窯の修理 ・網戸修繕 ・空調器具等修繕及び換気扇交換(1箇所) ・蛍光灯本体交換(4基)			上半期活動実績	-			7	(件費(B)	17,855千円	10,284千円	10,284千円			
		健康増進の場を提供することにより, 向上を図るため。									I I	従事 割合	2.40人	1.40人	1.40人			
пл				^頃 ・入口街灯修繕(1基) - ・障害者トイレ修繕 -								内訳	時間外 勤務	10.00時間	10.00時間	10.00時間		
					寺に福祉支援センター事業の日常業務の停滞を招かな		上半	-					臨時職員等	無	無	無		
	/15 . I . NIV ==		式	 特に福								事業コスト (A + B)	33,574千円	27,633千円	29,792千円			
業及び	茎崎農村	務···利用者に茎崎老人福祉センタ- 付高齢者交流センタ-の部屋の貸出,	成果	いよう施設の老朽化による突発的な緊急修繕に対応し た。		∥期∥成	-			Н			1					
概 施設		里業務・・・施設が安全で快適に利用					果				30							
要 できる 	より維力	よう維持管理業務を行う。		15-5-5-4									### 年度当初					
			課題	施設全体が老朽化していることから,外観からは確認できない突発的な設備,機器等の故障が発生するため,			課題	-				-						
		-	Į.	総括的な改修計画が困難である。			W.S.				積算根							
H28 環境 関連 性	-	地球温暖化の防止		<u> </u> 事業の 		改善目標の 進捗状況	達成		<u> </u> 事業の 	-	改善目標の 進捗状況	-	祝 拠 					
ISO 14001	th		ر ا	有効		<u> </u>	เาอ		有効性	<u> </u>	(C)	1						
H29 環境	تاحل		評価	効率	性 中:適切な	 費用対効果が得			効率性	<u> </u>	-			130年度 -)方向性	- 理由 -			
関連 性 				総合語	平価 B:成果·費	用対効果の向上に	列上に努めつつ継続実施		総合評	価 -			32731-312					